獨協医科大学精神神経医学講座

同門会誌

第12号

2020

目　　次

1. コロナ禍の精神科医療　　佐藤勇人 …… 1
2. 下野の国に来て17年　　下田和孝 …… 3
3. 「私のドはまり」 …… 7
   下田和孝（獨協医科大学精神神経医学講座）
   古郡規雄（獨協医科大学精神神経医学講座）
   菅原典夫（獨協医科大学精神神経医学講座）
   岡安寛明（獨協医科大学精神神経医学講座）
   林　有希（獨協医科大学精神神経医学講座）
   北原亜加利（獨協医科大学精神神経医学講座）
   篠﨑將貴（獨協医科大学精神神経医学講座）
   大和田　環（獨協医科大学精神神経医学講座）
   北林佳晃（獨協医科大学精神神経医学講座）
   佐藤由英（獨協医科大学精神神経医学講座）
   横山沙安也（獨協医科大学精神神経医学講座）
   横山宜史（獨協医科大学精神神経医学講座）
4. 近況報告　　秋山一文（一般財団法人　河田病院　診療部長） …… 22
5. 近況報告　　藤井久彌子（滋賀医科大学精神医学講座） …… 23
6. 研究紹介　　岡安寛明（獨協医科大学精神神経医学講座） …… 25
7. 平成31年／令和元年　外来統計　　川俣安史 …… 27
   平成31年／令和元年　入院統計　　篠﨑將貴 …… 28
8. 教室便り　　人事往来 …… 30
   2020年1月現在の講座スタッフ …… 30
   新入局員挨拶
   菊池昂太 …… 31
   田﨑みなみ …… 32
   古川　葵 …… 33
9. 獨協医科大学・新潟大学対抗戦レポート　　石川高明 …… 34
10. 写真で見る講座・大学の動き …… 35
11. 令和元年　獨協医科大学精神神経科教室同門会総会議事録 …… 55
12. 2019年の講座業績 …… 56
13. 編集後記 …… 72

コロナ禍の精神科医療

獨協医科大学精神神経医学講座同門会　会長
佐　藤　勇　人

我が読売ジャイアンツは今年もソフトバンクに４連敗を喫し、エース菅野を大リーグに流失か？と囁かれている中で同門会誌の原稿を書き始めました。ちなみに昨年は某総合病院整形外科病棟のベッド上でソフトバンク戦を観ており惨敗結果のお蔭で心身ともに病状が悪化？したことが記憶に残っております。

さて、本学一期生の大平下病院藤沼仁至先生におかれましては、2019 年の台風 19 号で病院が甚大なる被害に遭われました。河川の氾濫により大量の雨水や土砂が強化ガラスをも割り砕き病院内に一気に侵入し電気系統機器は完全消滅したそうです。エレベーターや空調機能は停止し、当直医であった同門会会員の藤平明広先生は藤沼先生や職員と階段を使い患者様を上階へ移動させたそうです。その後、大平下病院の入院患者様の受入れについて栃木県精神衛生協会に支援要請があり、栃木県保健福祉部障害福祉課と転院先調整を行いました。藤沼仁至先生の人望もあって同門会会員病院はじめ栃木県精神衛生協会会員病院からは受入れの意向をいただき６日目には入院患者様全員の転院が完了しました。群馬県の原病院原淳子先生は、被災後直ちに大平下病院に駆けつけて下さり現地の状況を詳細に教えてくれました。原先生の変わらぬ迅速なる行動力にはこの時も頭が下がる思いをいたしました。東日本大震災で発揮された同門会の絆が一層深く強くなっていることに同門会会長として心強く皆様にはあらためて感謝しております。

令和２年も終わりに近づいて参りましたが今年は世界中が新型コロナウイルスの猛威に奔走された１年でした。私は栃木県精神衛生協会のコロナ対策担当委員長として精神障害者が感染した際の治療受入れ協力のお願いのために 2020 年６月から栃木県保健福祉部医療政策課、障害福祉課と県内９ヶ所の総合病院に出向きました。その中で上都賀総合病院様と足利赤十字病院様は、即座に受入れについて同意して下さり、また、他の総合病院でも感染症専門の先生方や関係者の皆様から感染症対策について色々とご教示いただくなど私にとりまして、とても有意義な機会でした。そして栃木県精神衛生協会会長青木公平先生には労いの言葉をかけて頂き、足利赤十字病院神経精神科部長船山道隆先生からも励ましの電話を頂いたことなど大変有難く涙が出るほど嬉しかったこともありました。しかし行く先々で精神科医療と精神障害者に対する理解がされていないという現実にも直面しました。「病院と名の付く限り自院で診るべき」「精神科の患者さんは環境が変わると病状が悪化する」「病棟内を歩きまわって感染が蔓延するのではないか」など精神科医として心が折れそうになったこともありました。同時に精神科医療と精神障害者への理解普及活動の必要性を強く認識しました。

新型コロナウイルスの猛威は我々の精神科医療においても様々に関わっており、病院管理者はクラスターを発生させないための感染予防対策の徹底に努めるとともに、コロナによる倒産や解雇を契機として精神疾患を発症したケースの治療にも当たっております。感染症の専門ではない我々も新型コロナウイルスと日々、闘っていることは事実です。同門会の皆様にとりましても今年は大変な一年であったと思いますが精神科医であることに誇りをもってこれからも診療、研究に励んでいただきたいと思っております。

新型コロナウイルスとの闘いは更に長期化する様相ですが来年の同門会で皆様にお会いできることを願い信じております。

結びに私の原稿提出が遅くなりまして編集委員の先生方に多大なるご迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。

令和 2 年 12 月 18 日

下野の国に来て 17 年
～山本恭司師匠のこと～

獨協医科大学精神神経学講座
下　田　和　孝

母校・滋賀医科大学から獨協医科大学に助教授（当時の呼称）として赴任したのが 2003 年 1 月 1 日であったから、2020 年 1 月で下野の国に来て 18 年目に入った。Char の ”Sacred hills” を大音量でかけながら Mazda Familia を疾駆させ、名神高速道路→首都高速→東北自動車道→北関東自動車道と下野の国にやってきたのが昨日のことのようである。

正直、シモダは母校よりはるかに居心地の良い獨協医科大学のおかげで大変楽しく過ごし、「都道府県魅力度ランキング 47 位（2020 年 10 月現在）」に対しては「栃木にはニラ蕎麦みたいなうまいもんもあるし、栗野のような自然いっぱい、魅力満載のところだってある！！」と、「都道府県魅力度ランキング 47 位（2020 年 10 月現在）」に全く納得できない「栃木ケンミン」！！になっている。

シモダが下野の国に来て楽しく過ごしているのは他にも要因があると思う。

シモダは自他ともに認める rock freak である。栃木に来てからのシモダの “no music, no life” は明らかに広がりをみせている。例えば、バンド ”Kazzfest” の活動は黒澤昌克さん、目黒創也先生、大久保尚弥先生（以上、現・メンバー）、武井航平先生、森　智史先生、鷲山雄三先生、加治芳明先生ら（以上、元メンバー）のおかげで継続的に活動できている。今や、”Kazzfest” は「直訳ロックの王様」公認家来バンドである。

また、かぼちゃ亭の山口 ”Izzy” 伊津巳さんと知りあえたことも大きい。Izzy さんのところで色々な有名ミュージシャンのライブに接することができたし、「直訳ロックの王様」やダイアモンド✡ユカイさんにつないでいただき、学会懇親会や忘年会でもライブをやっていただくことができた。

滋賀にいた頃とは段違いの楽しさである。

2012 年 1 月頃だったろうか、Izzy さんから電話があり、「今度、山本恭司さん、来るんだけどさ、観に来る？」と言われた。「BOWWOW、VOWWOW の山本さんでしょ。行きますよ～♪」と返事した。山本氏はデビュー当時から ”miracle finger” と呼ばれていたことは、シモダは当然知っていた。「まあ、どうせ、早弾き自慢なんでしょ」と思っていた。

しかし、その「弾き語り　弾きまくり」という名のライブを観て、自分の思い違いを恥じた。なんというか…… 一音一音に魂が入っているというか、完全にその音にこちらの身体と魂がとらえられて動けなくなるような play であった。それ以降、wife ともども、たびたびライブにお邪魔するようになり、皆さんが「師匠」と呼んでいるのでシモダも“山本師匠”と言うようになった。

シモダは wife とともに外タレ、日本人ミュージシャンを問わず、ライブを観に行くことが多い。帰路は、あーだ、こーだとその日のライブのことについて話しながら帰るのであるが、山本師匠のライブを観て以降は、どんなミュージシャンのライブを観ても、帰路、最初はその日に観たミュージシャンの話をしていても、「でもさ、やっぱり山本師匠のほうがすげえよな」とシモダが言い、wife が「恭司さんと○○さんを比較するのはちょっと可哀そうだよ、だって全く格が違うんやもの……」というパターンになっている。

山本師匠から教えられることは多い。師匠が最初に購入されたギターは Greco の Stratocaster だったそうだが、single-coil pickup では満足できず、humbacker に交換するのだが、はんだごてなどの必要な工具を持っておられなかった。当時高校 2 年生の師匠は彫刻刀と鑿でボディをゴリゴリと削り、火箸をガスコンロで焼いてはんだごての代わりに使い、ドリルがないから焼け火箸で pick guard にズボズボと穴をあけたという。「金がないから」「道具がないから」「手伝ってくれる人がいないから」「時間がないから」と「やれない理由」を見つけるのではなく、「どうしたらやれるか」と考え、突き進むことを学ばせていただいた。

我々夫婦は山本師匠が俳優の佐野史郎氏（お二人は島根県立松江南高校の同期）と duo で行う「小泉八雲朗読のしらべ」という performance に、銀座、越谷、松江、姫路（残念ながら 2019 年 12 月の那覇公演は佐野氏のお怪我で中止となってしまった）と何度もお邪魔している。お二人の故郷・松江の誇り、小泉八雲（Lafcadio Hern）の「怪談」（Kwaidan）を「怪優」佐野史郎氏の鬼気迫る朗読、山本恭司師匠が紡ぐ音楽とギターによる効果音で練り上げる、まさに、総合芸術の域に達していると思う。https://www.youtube.com/watch?v=P7ansx3WIRU

こんなに楽しい music life があれば、都道府県魅力度ランキング 47 位（2020 年 10 月現在）であっても栃木からは離れられませんよ～♬

まさに ”no Tochigi, no music, no life” ♪♪

2012年4月28日　かぼちゃ亭でのライブ終了後のnice shot!!

2012年4月28日　かぼちゃ亭にて

第6回アジア神経精神薬理学会・第29回日本臨床精神神経薬理学会・第49回日本神経精神薬理学会
合同懇親会　ポスター・フライヤー

—— 私のドはまり ——

自家製 fruits granola

獨協医科大学精神神経医学講座
下　田　和　孝

初めて cereal (注1) を食べたのは 6 歳上の兄が Kellogg のコーンフレークに牛乳をかけて「世界の朝食」と言って食べているのをみて、食べたのが初めてだったと思う。1960 年代の後半だったと記憶している。その後、1973 年の夏にアメリカ合衆国・Boston 郊外の Hopkinton に home stay した際に毎朝の様に食べた記憶がある。

その後あまり cereal を食べることはなかったが、2005 年頃だったか、某先生の影響から muesli (注2) に牛乳と蜂蜜をかけて食べていたが、なんというか……「鳥の餌」感がぬぐえず、そのうち食べなくなってきた。

世の中は # stay home　である。時々、家で料理（カレーやシチューは言うに及ばず、台湾家庭料理・魯肉飯（るーろーはん）、煮豚などなど）をすることのあったシモダがさらに料理をする機会が多くなった。たまたま家内の妹がオーツ麦 (oat 注3) を持ってきたのを機会に自家製 fruits granola を作ってみようということになった。家内がアメリカの牧師さんに教えてもらった recipe に従い、オーツ麦を olive oil で炒め、nuts を刻んだものを入れ、butter、brown sugar、honey で作ったカラメルを絡め、raisin や dried cranberry などの dried fruits をいれて炒めるとできあがり。

調理の過程での注意点は……

1）甘党のシモダはついついhoneyを多目に入れてしまうのだが、honeyの量が多すぎると当然ながらべたついた仕上がりになってしまう。
2）Butter、brown sugar、honeyでカラメルをつくる際に所謂「カラメル化」（caramelization）(注4) を見極めることが重要で、目安はフライパンの中でグツグツと溶岩の様に泡だってきた時が炒めたオーツ麦の投入のタイミング！……ということである。

味は、それはもう、市販の fruits granola など食べられません。TV をみながらポリポリ、ちょっとおなかがすいたら牛乳をかけてモグモグバリバリ、また牛乳が何ともほんのり甘くなって美味〜い！！

何より、これを食べるようになってからお通じが大変よろしいです。

Rp　1）オーツ麦　4 cups（340g）をolive oil table spoon 2匙を混ぜて、中火で7分炒める→oven paperの上で冷やす
　　2）butter table spoon 2匙（30g）＋ honey table spoon 2匙（45g）＋ brown sugar table spoon 4匙（35g）をフライパンで中火にて溶かしながら混ぜ、ぐつぐつと泡立たせ、そ

こに1）のオーツ麦を投入

3） dried fruits 120g とnuts 60gを2）に投入し、raisinが膨らむくらいまで火を入れる。

4） oven paperの上で冷やす。→冷えてからばらけさせる。

シモダ謹製　fruits granola完成の図

注1　Granola

発祥地はアメリカ。当初 "granola" という名前は、商標であった。この "granola" の特許を取得したのは "corn flakes" で有名な "Kellogg Co." の創立者 John Harvey Kellogg である。Rolled oats（燕麦の押麦）を主とした、麦や、玄米、とうもろこしなどの穀物加工品と nuts, dried fruits などを、honey などのシロップ、植物油とで混ぜてオーブンで焼いたもの。

注2　Muesli

発祥地はスイス。Rolled oats（燕麦の押麦）などの未調理の加工穀物と dried fruits, nuts などを混ぜ合わせたシリアル食品の一種。

注3　オーツ麦

燕麦（エンバク）のことで、エンバク（学名：*Avena sativa*）はイネ科カラスムギ属に分類される一年草で、その種子は穀物として扱われる。英語名の "oat" から、オートムギ、オーツ麦、オートとも呼ばれる。

注4　キャラメル化（caramelization）

キャラメル化は糖類が引き起こす酸化反応などで生じる現象で、生成機構は未だ完全に解明されていない。グルコース、ショ糖などを加熱して生じるフラン化合物が重合反応によりフラン・ポリマー構造を呈する、とする仮説が提唱されている。カラメル化と同様に加熱で褐色色素が生じる、メイラード反応はアミノ酸と還元糖の両者を必要とし、キャラメル化とは異なる反応である。カラメルは、メイラード反応のメラノイジンほどではないが抗酸化作用を有し、一般に色が濃いほど抗酸化作用が強く、窒素含有量の多いものほど抗酸化作用が強くなる。

—— 私のドはまり ——

私のドはまり

獨協医科大学精神神経医学講座
古　郡　規　雄

私のドはまりは「かまいたち」である。鎌鼬は日本に伝えられる妖怪でつむじ風に乗って現われて人を切りつける。これに出遭った人は刃物で切られたような鋭い傷を受けるが、痛みはなく、傷からは血も出ないともされる。現在では機械的な要因によるものではなく、皮膚表面が気化熱によって急激に冷やされるために、組織が変性して裂けるといったような生理学的現象（あかぎれ）であると考えられている。

これは妖怪伝説としてのかまいたちであるが、私がはまっているのはお笑いコンビの「かまいたち」である。2017年にキングオブコントで優勝、2019年にM-1で準優勝。私が特にはまっているのはしゃべくり漫才の方である。子供のころから関西でお笑いの中で生活してきたため、知らない間に見る目が肥え、ネタがしっかりしてオチがないと笑えなくなっている。これまで、漫才で非常に面白いと思ったのは、やすきよ、オール阪神巨人、ダウンタウン、チュートリアル、最近では和牛であるが、この半年はかまいたちにはまっている。世間ではお笑い第7世代と騒がれているが、正直何が面白いのかよくわからないし、一回見れば十分と思ってしまう。今は簡単に動画が見れるので、毎日1日1回以上は寝る前にかまいたちの漫才を見ている。何回見ても、どのネタを見ても面白い。聞いているだけで面白い。M-1決勝戦の時は空回りして少し残念だったが、個人的には突き抜けていたと思っている。特に傑作なのがUSJ、タクシー、怖い話。

漫才のスタイルはボケの山内さんが狂気的なキャラクターを演じて詭弁を弄する口喧嘩のような漫才と評されるが、実は濱家さんの突っ込みが天才的である。事実、どの時点で笑いが出ているかの統計を取ったところ、濱家さんの突っ込みで笑いが生じている方が多いことが分かった。一見、ネタを作り、ボケの山内さんが笑いの天才にみえるが、濱家さんも同様に天才であり、この大天才のボケと天才のツッコミという関係はダウンタウンに似ている。2020年夏ころより急速にテレビでひな壇に上がるようになったが、出来ればかまいたちには舞台で漫才とコントを続けてもらいたい。

—— 私のドはまり ——

私の音楽事情を変えたもの

獨協医科大学精神神経医学講座
菅　原　典　夫

CD のコレクターと言ってよい私にはある時期から大きな悩み事があった。それは保管スペースの不足である。同曲異演、場合によっては同じ演奏家や団体でも別テイクを聴き比べることを楽しみだすと、全く歯止めがかからなくなる……。ことに都内に転居してからは、これが深刻化して、ついには保管用の倉庫を契約し、聴く頻度の低いものを預けなければならなくなる始末であった。しかし、ふと長いこと耳にしていなかった演奏を聴きたいと思う時もあるわけで、この対処方略も満足のいく解決策ではなかった。

ところが、ある時、同僚から Amazon music を布教されて、徐々に状況が変化した。当初は、私のような偏ったニーズを満たすことは出来ないないだろうと思っていたが、どうやら追加料金を払い、Amazon music unlimited にアップグレードすれば、存外にマイナーなコンテンツも提供されていることが分かり、しばし懊悩の末、契約してしまった。当初は大企業の策略に敗北した気もしていたが、確かにコンテンツの幅広さは大したもので、次第に自分のプレイリストに登録する曲が増えた。その結果、このサービスでカバーされないものだけを手元に置けばよいとなっただけでなく、外出時に CD を持ち歩くこともなくなり、保管スペース問題以外も一挙に解決された。

このサービスを使い始めた頃の主な使用環境は、電車での通勤時や自家用車の運転時などであり、BGM として流していたが、ふと、静かな環境でそれなりのスピーカーで聴いたらどんなものだろうと思い、自宅で試してみることにした。すると……やはり CD をプレーヤーで聴くほどの音質には及ばないと感じてガッカリしたのだが、標準規格の Standard Definition（SD）では情報が圧縮されているので、これはやむを得ないかもしれないと気づいた。しかし、せめて、CD のフォーマットである 16 bit/ 44.1 kHz 程度はカバーしたいと思った結果、これをカバー出来る High Definition（HD）や、最大 24 bit/ 192 kHz でハイレゾに対応する Ultra High Definition（Ultra HD）を聴けるように契約内容を変え、またしても追加料金を払うハメに陥ってしまった。

こう書いてくると、ハマったというか、ハメられたという感じかもしれないが、PC かスマホがあるだけで、そこそこの音質で音楽を楽しめる Amazon music から離脱するのは当分先の話になりそうだ。

—— 私のドはまり ——

鮮やかな大輪の花を紅に染めて終わらない雨を感じてみろ

獨協医科大学精神神経医学講座
岡　安　寛　明

中学2年のある秋の週末､何気なく歌番組を観ていると､偶然あるバンドが出演していました。そのバンドの名前は以前から聞いたことはあったのですが､「なんか髪の毛ツンツン立っているし、真紅だし、派手な格好だし、ちょっと怖い感じだなあ」という認識しかありませんでした。しかし、そのバンドの演奏を観て、後ろから刺されたような凄まじい衝撃（Visual Shock!!）を受けてしまい、その20世紀最大のバンドに「ドはまり」してしまったのです。番組内では2曲演奏したのですが、最初の曲は、バンドの代表曲ともいえるハードなナンバーで、勢いがありながらもメロディアスな曲で、いつの間にか私は、声は出せずとも心で絶叫しておりました。2曲目は、一転してピアノを主体とした、涙が流れるような切ない歌詞の壮大なバラード曲で、最初の曲との対比にも度肝抜かれました。また、その年最後の同歌番組のX, masスペシャルで演奏したときのパフォーマンスでは、メンバーが極度に興奮し、カメラを破壊してしまい、映像が乱れるなど激しさを表現していたのを鮮明に覚えております。そのバンドの虜になった私は、もっとそのバンドの曲を聴きたいと思いましたが、お金のない14歳の私は、CDを買えず、友人からCDを借りて、録音したカセットテープが疵つくまで聞き、テレビ出演していたら録画して何度も観て、家族に変な奴だと呆れられているほどでした。ライブに行ったという友達の話を聞くと静かに嫉妬感を抱いていたほどです。その後、コツコツとお金を貯めてCDやVHS（後にDVD)、書籍を購入したり、メンバーと同じデザインのギター（モッキンバード:既に古くなり、錆ついてしまっていますが……）を購入して曲を真似して弾いたりしておりました。そして、高校生の時についに願望叶い、大晦日の東京ドームライブに参戦したのでした（当時、大晦日の東京ドームはジャニーズではなかったのです)。メンバーのコスプレをした観客達の圧倒的な熱量に立ち尽くし、最初は場違いだったかなとも思っていましたが、最後には、腕を十字に交差して思いっきり気合を入れてジャンプしていました。まさに私のとって祝いの日でした。

時は流れ、40歳になった私は今日も青い空と白い雲の下、車の中でそのバンドの曲を聴きながら、通勤しています。メンバー全員のソロ曲も含めると、彼らの曲を聴かなかった日は1日たりともありません。

そのバンドは、一時は解散したり、メンバーの脱退や不幸があったりと、悲しく、苦しい時期もありましたが､その後､復活し､世界進出し､現在に至るまで活動を続けております。メンバーは全員50歳を超えているというにも関わらず、そのパワーには凄みがあり、皮下の血管内に流れる薔薇のような赤い血液の循環を活性化させるような強いエネルギーを感じます。身をよじりたいほど苦しいときでも、失敗して消えたくなりそうなほどの自責感に悩まされたときでも、何もかも捨てて自由に生きたいなとやけっぱちになりそうなときでも、その都度、彼らの音楽を聴くと、心にすっと風が吹き、前を向いてかつ気楽に戦っていけるようになります。まさに私の中

のヒーローであり、女神でもあります。ちなみに、2007 年の復活後から制作中のアルバムは現在（2020 年）まで未完成です。彼らの曲がない人生は考えられないので、完成をいつまでも何も言わずに切望し続けることでしょう。

すべての意味で格好良く、天使のように繊細で、翡翠のように美しい彼らの人生の芸術ともいえる音楽を永遠に愛し続け、感動を与えてくれる彼らの音楽を聴ける時代に生きていることに感謝しています。We are……

—— 私のドはまり ——

私のドはまり

獨協医科大学精神神経医学講座
林　　有　希

今回「私のドはまり」とのテーマをいただき、久しぶりに同門会誌に記事を掲載させていただけることになり、現在の自分に何がご紹介できるのか色々と考えてみました。好きな小説や漫画、アニメやTVゲーム等を紹介してもあまり面白くないと思い、何かないかと考えたところ、2017年後半から話題になっており、現在私も頻回にYouTubeで動画視聴している「VTuber（バーチャルYouTuber）」について紹介したいと思いました。現在VTuberは1万人以上が活動しており、テレビやラジオなどのメディアにも進出しており、メジャーデビューをしてCDを出しているVTuberもいるなど今現在最も勢いのあるコンテンツの一つだと思います。

VTuber（バーチャルYouTuber）とは、元来は「バーチャルな身体を持ったYouTuber」という意味で生まれた単語だそうです。一般的なYouTuberは自身で撮影した動画を編集し、それをYouTube上にて配信していますが、VTuberは2Dや3Dのアバターを用いて主に歌や雑談、ゲーム配信、VTuber同士のコラボ企画等の活動をYouTube上で行っています。

何故私がVTuberにはまったかというとコロナ流行による自粛期間が続いてstay homeを余儀なくされる中、自宅で楽しめる余暇といえばゲームやTV鑑賞、動画配信を視聴するくらいしか自分には選択肢がなく、その中で長時間ゲーム配信をしており、暇潰しにはもってこいの存在だったのがVTuberの配信でした。ゲームの腕前もさることながら、トークも面白く、最近似たような番組しか放映していないTV番組よりも断然面白く、あっという間に私もはまってしまいました。またYouTubeの投げ銭機能である「スーパーチャット（スパチャ）」と呼ばれるお金を払って配信者を応援できるシステムも存在しており、リアルタイムなコミュニケーションを行えるのも既存のTV番組にはない魅力なのだと感じました。ちなみに私はまだこの機能は使用したことはないです（笑）。

今後、VTuber勢がもっと支持層を拡大するかどうかは、現時点ではわかりません。けれども、虚構と現実の狭間で娯楽を提供してくれるコンテンツとして、私はVTuberをこれからも応援していきたいと思います。ご興味のある方は一度視聴してみてはいかがでしょうか。

—— 私のドはまり ——

朝の時間に……

獨協医科大学精神神経医学講座
北　原　亜加利

我が家には小学生５年の長男を筆頭に１歳までの４人の子供たちがいる。彼らが１日の終わりに可愛い寝顔を見せるまでは、彼らのために尽くしているので、夜中はぐったりと布団に沈み込む。

しかし、睡眠という充電を経て目覚めた朝がとても素敵なのである。誰も起きていない朝に、静かにベットから這い出し、なんとも素敵な「一人時間」を満喫する。それは誰の要求にも答えなくていい私だけの時間なのである。

香りの良い紅茶を入れて楽しんだり、英語をやってみたり。ジョギングをしたり……その時その時、心が赴く事をやってきた。

今は何をしているかというと、「朝 swim」である。4 時 40 分に起床、澄んだ星空を眺めて、まだ暗い朝を楽しむ。吐く息が白いのがまた、楽しい。

愛車で好きな音楽をかけて、高速道路を走り抜けプールに向かう。

プールでしっかり追い込んだ後がまた、気持ちがいい。どんなに追い込んだ後でも、日が昇った後の外の空気を吸い込んだ瞬間、「爽やかな朝」を感じることができる。そして、プロテインと軽めの朝食を補給して、トレーニングまで終えると、また始まる４人との格闘に元気よく備えることができる。

子育ては､長いようで瞬間的であるようにも思う｡長男の足のサイズはもう私を超えているし、末っ子はもう走る。成長段階によってそのスピードは異なるかもしれないが、確実に前に進んでいく子供たちを肌で感じていると、「前の子供たち」にはリアルタイムでは会えないことに気づかされる。

その圧倒的なエネルギーに、やられそうになることもあるのだが、私には、どんな状況の時でも、揺るがない１つの目標がある。仕事や、子育てとは、またフィールドが異なるが、幼い頃から続けてきた剣道に関して、である。相対的ではない自分の絶対的な剣道にたどり着くことが、納得いく結果に繋がると信じてきたが、時間・やること・やれることの狭間で苦しんできたのも事実である。

肩書きによらず一人の人間として追求すべき目標に集中できる時間があることが私にとって豊かな生活となりうると感じている。その時間を、「朝」に見つけることができた。Swim で持久力を養い、トレーニングで体を作り、良いイメージを作り上げて、剣道に向き合う。朝の、剣道のためにかける時間こそが、今の「私のドはまり」ということになる。

「早起きは三文の得」。寝坊したら万事休す。「自分の時間」は跡形もなく消えるのはいうまでもない……。たくさんのアラームが戦友である。

コロナ禍で消毒スプレーは欠かせない……。

—— 私のドはまり ——

私の「ドはまり」～秘湯をめぐる旅～

獨協医科大学精神神経医学講座
篠　﨑　將　貴

思い起こせば2016年の同門会誌で「趣味が欲しい！」という、どうしようもない原稿を書いた。それから4年、この同門会誌の依頼である。テーマは、私の「ドはまり」……。趣味がない人に「ドはまり」を聞いちゃダメだろうと思った。しかし4年という歳月は多少人を成長させるのか、1つだけ「ドはまり」していることがあるので紹介する。

それは秘湯めぐりである。私はこれまで旅をすると言っても、有名観光地（京都、神戸、金沢など）を選び、宿泊先も無難なホテルに泊まっていた。温泉地の旅館は、当たり外れが大きく、トイレが和式の共同でおばけが出そうとか、女将さんそのものがおばけのような雰囲気とか、脱衣所の床が古くて抜けそうとか（私の旅館を選ぶセンスが問われているだけかもしれないが……）、良い印象はなく、山奥の秘湯旅館に行くことを考えたこともなかった。しかし、ふとしたきっかけで「日本秘湯を守る会」という存在を知ってからは、旅の行き先が変わった。日本秘湯を守る会は、昭和50年「秘湯」という造語を生み出した、故岩木一二三氏の提唱で創立された会であり「旅人の心に添う 秘湯はひとなり」を理念としている。ホームページによれば、会員となっている秘湯宿は全国で162軒ある。

約2年前、秘湯の会の会員旅館の1つ、宮城県青根温泉の湯元不忘閣という旅館に行った。到着すると、そこには風情ある、古いけれど手入れの行き届いた旅館が待っていた。特筆すべきは温泉である。御殿湯と言って伊達藩一門も使用したという大浴場や、いくつかの貸切温泉があり、その中でも「蔵湯」は最高だった。明治初期に作られた蔵の中に1つの大きな檜の浴槽。一人で浸ると、日頃の迷いや邪念から解放されて、心がすっきりする魔法のような温泉だった。休憩室ではお茶に加えて、なんと地酒が無料で飲み放題。食事もおいしく、素晴らしい旅館だった。何より、自分が温泉や周囲の自然に溶け込むなかで、人間性の回復を求め「旅らしい旅」を楽しめたことで、かつてない解放感を感じ、私は秘湯に「ドはまり」した。

COVID-19感染が落ち着き、心置きなく旅が楽しめる日が来たら、皆さんもぜひ「日本秘湯を守る会」会員宿に宿泊してみてはいかがだろうか。そこにはきっと「旅人の心に寄り添う」すてきな温泉が待っているはずだ。

—— 私のドはまり ——

私がドはまりしているもの：MCU

獨協医科大学精神神経医学講座
大和田　　環

アメリカで大人気の出版社「マーベル・コミック」。そしてそのコミックの実写映画化シリーズが「MCU（マーベルシネマティックユニバース）」である（有名なキャラクターだと、スパイダーマンやアイアンマンなど）。

MCU は第一作目の「アイアンマン」から始まり「キャプテン・アメリカ」、「スパイダーマン」、MCU 作品に登場するヒーローたちが共通の敵に立ち向かうためにクロスオーバーする「アベンジャーズ」シリーズなど多数の作品がある（計 23 作品、ドラマ含め 40 以上）。

その集大成として 2019 年に公開された「アベンジャーズ／エンドゲーム」は興行収入世界記録を更新しており、2019 年の全世界累計興行収入ランキングではトップ 5 に MCU の 3 作品がランクインしている。そんな超人気映画シリーズがマーベル・シネマティック・ユニバース（MCU）なのである。

第一作目の「アイアンマン」に関していうと、天才だが高慢な武器商人がふとしたことをきっかけに自社兵器がテロ組織に使われていたことを知り、テロ撲滅に命を捧げることを決断する。といった内容なのだが、キャラクターの人間的な側面を描き、トニー・スタークといったキャラクターに共感させることはもちろん。逆境においても不屈の精神で立ち上がる心の強さ（あるいは成長）を描き、クライマックスもあり、そしてヒーロー映画らしく大団円。しかも、ユーモアも忘れず見ているとどこかしらで笑ってしまう。といったようにそれぞれの作品が単体の映画として非常に完成度が高いものとなっている。

そういった一つ一つの映画から各々のヒーローのストーリーを知るのだが、「別物」として見ていた作品が「実は同じ世界の出来事でした」とクロスオーバーし共通の敵に立ち向かい、最終局面を迎えるわけで、悔しいがワクワクさせられてしまうのである（簡単に言うとマジンガー Z、ケンシロウ、悟空、ルフィが一つの作品の中でラスボスと戦ってアツイといった感覚）。

そんな「アベンジャーズ / エンドゲーム」なのだが、実は作中にそのシーンが「あの映画のあのシーンだ」と気が付かされるなど、過去作の伏線回収や、オマージュといったものがそれこそ小ネタレベルも含めて数えきれないほどある。

そのため「エンドゲーム」を見るとその伏線やオマージュの元となった映画（例えばアイアンマン）をもう一度見返したくなる。見返すとそのヒーローシリーズ（アイアンマン 2、アイアンマン 3）を全部見たくなる、全部見ると「エンドゲーム」をもう一度見たくなる、「エンドゲーム」を見ると……、と繰り返してしまう。こうなるともう泥沼で、ふと暇な時間ができた時など「エンドゲームでも見るか……」と「とりあえず生中」のように MCU を見るようになる。

何度も見て飽きないのかと不思議に思われるかもしれない。当然大まかなストーリーは覚えているのだが、なにせ 23 作品もあるため細かな表情は発言まで覚えてはおけず、見たそばから古い記憶が失われていくため、何度でもループしてしまうのである。

そういったことから我が家ではかなりの確率で何かしらの MCU 作品が上映されているのだが、作品数の多さのためこの楽しみを共有できる相手がなかなかいないのが悲しいところである。

—— 私のドはまり ——

私がドはまりしているもの

獨協医科大学精神神経医学講座
北　林　佳　晃

お久しぶりです。令和２年２月に獨協医科大学病院を離れて半年と少しが過ぎました。その後はコロナウィルスの影響もあり医局や病棟を立ち寄ることも少なくなり、同期や後輩ドクターと会えていない事を少し寂しく感じております。

就職して友人と集まったり、遠出したりできなくなってからは屋内でできる余暇の過ごし方をすることが増えてきました。最近では専らボードゲームやカードゲームにハマっているということになるのでしょうか。ボードゲームはもともと見本市やボードゲームカフェ・専用ショップなどに行ったりなどインドアな印象とは裏腹にアクティブな趣味として楽しんでおりました。友人とボードゲームをしながら近況や仕事の話を交わすのはただ飲み会で話すというより場合によっては盛り上がったり、普段と違う発見があったりするものです。小さなコマや勝利点のチップ、ダンジョンを作っていくゲームなら部屋や通路を表すタイルなどの可愛らしい道具（コンポーネントと呼びます）がボードゲームの箱に収まりよく収納されています。これが金属製や木製なら質感を含めて完璧です。コンセプトとゲーム性、コンポーネントの要素が綺麗にまとまっているゲームと出会えたときには感動すら覚えてしまいます。

要素があまり多くないシンプルなゲームなら本当に小さくてタバコの箱よりちょっと大きいくらい。数時間から半日くらいかけてしっかりプレイするゲームなら両手で抱えるくらい大きくてずっしりした重さがあるものとバリエーションも様々です。購入してまだプレイできていないゲームが部屋の端っこに段々に積み上げられていると「早く消費をしなきゃいけないなぁ」と友人が集まれていないコロナ禍の現状を疎ましく感じてしまいます。

最近はそのような感じでしょうか、早く以前のように後ろめたさを感じずに友人同士集まれる社会に戻って欲しいものです。今後も医局の繁栄をお祈りしております（お決まりの挨拶）。

—— 私のドはまり ——

私がドはまりしているもの

獨協医科大学精神神経医学講座
佐　藤　由　英

「1/f 揺らぎ」という言葉をご存じでしょうか。具体例としては、ろうそくの炎の揺れ方、電車の揺れ、小川のせせらぎの音、木漏れ日、蛍の光り方など……要は不規則なリズム＝揺らぎであり、それと触れることで人間はリラックス効果を得ることができると言われています。「いきなりそんなこと言いだしてお前大丈夫か？」と心配されそうな文面ですが、何が言いたいかというと「炎の揺らぎを見るのが好きだ」ということです。なぜかボーッと見ていると落ち着きます。焚火、暖炉、ろうそく、線香花火……いろんな炎がありますが、コロナ禍で外出できずに心が荒み、炎を求めた私が最近手に入れたガジェットをご紹介しましょう。「アルコールバーナー」です。別名アルコールストーブ（略称アルスト）。アルコールを燃料とした小型コンロであり、アルコールランプよりは火力があるが、ガスコンロよりは火力がない、というもの。主に登山やキャンプに使用されています。「炎が見たい」「でも煙・臭いが出るのはいや」「大きいのは邪魔」「ろうそくは炎が小さい」「ガス缶は処理が面倒くさいし、味気ない」「マシュマロくらいは焼きたいかな」などといった諸事情を経て最終的にアルコールバーナーにたどり着きました。私は「トランギア」というスウェーデンのキャンプ用品老舗店のものを購入しました。アルコールバーナーの王道・定番らしく、半世紀以上もほとんど構造が変わらずにベストセラーになっているようです。真鍮製で作りは単純ですが、ゆえに丈夫で小さい。タンクにアルコールを注ぎ着火すれば約 25 分間燃焼します。青い炎が揺らぎながら静かに燃えているのをのんびり眺めていると、穏やかな気持ちになります。このご時世、消毒用アルコールは品薄ですが燃料用アルコール（メタノール）はドラッグストアで売っていますし、なんとスピリタスでも燃料になります。消毒もでき、飲用に耐え（飲むかは別として）、有毒性はメタノール以下、ということを考えるとスピリタスのほうが安全性はあるかもしれません（値段は燃料用に比較して 5 倍くらいしますが）。いざとなればお湯程度なら沸かせますし防災グッズとしてもよいかと思われます。また炎が持続しますので、花火の火元としてもよいのでは。炎を見るのが好きな方、キャンプ好きな方、花火をする方、一度アルコールバーナーを検討してみてはいかがでしょうか。※火の取り扱いには十分なご注意を

—— 私のドはまり ——

最近はまっているもの

獨協医科大学精神神経医学講座
横　山　沙安也

新型コロナウイルスで世間が賑わう中、私が夢中になっているのは「星占い」です。正確には「占星術」といいまして、Wikipediaによりますと「太陽系内の太陽・月・惑星・小惑星などの天体の位置や動きなどと人間・社会のあり方を経験的に結びつけた占い」のことです。

元々月や星といったモチーフには惹かれがちで、小さいころは本棚の前に座り込んで星座の本を読みながら、夜空に広がる星々の壮大な神話に思いを馳せたものです。今も悩みを抱え眠れない夜は「この広い宇宙の中で自分の悩みなんて小さいものだ」と安心するなど、何かと星というものを身近に感じていました。そして昨今のコロナ騒動。今後の不安そして自粛による暇を持て余した私が占いにドはまりするのはごく自然な流れでした。

多種多様なことが占える占星術ですが、特に私は「その人自身の星の地図（ホロスコープ）を見てその人の性格や性質を分析する」のが好きで、最近では嬉々として相手に生年月日と出生時間、出生地を聞いてまわっています。情報を手に入れると早く家に帰りホロスコープを描きたくて仕方ない。だって文字通りその人が「どんな星の下に生まれたのか」気になりませんか？　私は何よりも気になります。

占星術の１番の面白さは、あくまで解釈するのは自分自身であり、その結果がオリジナルだという事です。例えば獅子座のキーワードは「情熱的、リーダーシップ、支配欲、横柄」等ですが、どの意味を重視するかは人それぞれで、一つとして同じ解釈にはなりません。占った結果を友人に伝えると「合ってる！」と言ってもらえるのですが、それは私が無意識にその人らしい結果になるように読んでいるからに他ならない。それでも占っていると「怖いくらい合ってる……」と思うことがあるので、不思議なものです。

もちろんドがつく初心者なので、１人を占うのに参考書と数時間にらめっこです。結果だって教科書通りの定型文しか書けません。ただ、とにかく練習あるのみなので、怪しまないでくださる優しい方は是非生年月日等の個人情報を私に教えて頂けますと嬉しいです。そもそも占い全般が好きなので、夢占いや書物占いなど興味のある方は是非お声掛けください。どうぞよろしくお願いします。

（※あくまで趣味であり診療内容には一切支障を来しませんのでご安心ください）

—— 私のドはまり ——

マジでドはまり

獨協医科大学精神神経医学講座
横　山　宜　史

平素より大変お世話になっております。埼玉江南病院の横山宜史でございます。今回、同門会誌のテーマとして「私のドはまり」を賜りました。

一般的にはここ最近で強く関心を寄せたものをご紹介するものでしょうが、なにぶん子供の頃から遊びも食べ物も音楽も、ドはまりしているものが何一つ変わっておりません。クルマなどは物心ついた時からドはまりしておりましたが、現在に至るまでずっとドはまりしておりまして、きっとこれからも、いつまでもドはまりしているのでしょう。もはや人生そのものです。

さて、今回は、最近になって再ドはまりしているものとして手品、マジックをご紹介します。

幼稚園生の頃からテンヨーのマジックテイメント® シリーズを買い漁り、飼い猫に対してマジックを披露していました。ただ、どうしても手の中にモノを隠す、いわゆる『パーム』と呼ばれるテクニックは子供の小さな手ではうまくいかず、歯痒い思いをしておりました。当時、パームがマジックの要となるシカゴの四つ玉というマジックを購入しましたが、全くできなかった苦い思い出がございます。それを考えますと「てじなーにゃ」で一斉を風靡した山上兄弟の幼少期は血の滲むような努力の毎日だったのでしょう。涙を禁じえません。

ある時、マジックに再挑戦しようと思い立ちました。きっかけはコインロールと呼ばれる技です。指の上でコインを回転させるというもので、マジックの演出として行われることがあります（マジックではありません）。実は、「コンスタンティン」というキアヌ・リーブス主演の映画でコインロールのシーンがあり、自分もやってみたくなり練習をしました。その過程でパームも練習したところ、幼少期よりも上手にできたので、お調子に乗ってしまい、ドはまりしたのでした。

マジックは練習も必要ですが、相手の驚いた顔が喜ぶ顔に変わった時の達成感は格別です。皆様も、マジックの世界に触れてみてはいかがでしょうか。

近況報告

一般財団法人　河田病院　診療部長
秋　山　一　文

私は平成13年にご縁あって獨協医科大学に赴任させていただき、皆様のお力添えによりましてなんとか18年2か月の教授生活を送らせていただくことができました。平成31年4月からは、岡山市にある一般財団法人河田病院の診療部長を務めさせていただいており、おかげ様で、週6日、元気に仕事をさせてもらっております。

河田病院は昭和2年に岡山県下で初めて設立された精神科病院です。定床は449床で8つの病棟を有していますが、このうち2つの病棟が認知症治療病棟、1つの病棟が主に身体疾患を併発した認知症患者様に対する病棟になっています。外来では統合失調症や気分障害の患者様も診ておりますが、日本認知症学会の専門医を取得させていただき1つの認知症治療病棟（60床）を担当しております。獨協医科大学病院でも認知症疾患センターが置かれ、先生方は認知症の早期診断に御尽力されておられると思いますが、河田病院では、市中の総合病院や開業医から紹介された行動・心理症状（BPSD）を有する認知症患者様の入院治療の比重が高くなっています。獨協医科大学の教授の時も多少の認知症患者様を診ていましたが、その時より多彩な認知症患者様を診療しております。自身の担当病棟だけでなくもうひとつの認知症治療病棟に入院される患者様に対して本年1月からNeuropsychiatric Inventory（NPI）という国際的に認められたBPSDの評価スケールを用い、入院時、1か月目、3か月目に評価を行い、データを蓄積しております。研究の形態をとりますので、河田病院が岡山大学の関連病院であることから、岡山大学精神神経病態学講座の客員研究員にしてもらって、岡山大学と河田病院のそれぞれの倫理委員会に承認していただきました。認知症の患者様は様々な身体疾患を持っておられ、診療に内科的知識、神経学的診察技術が求められ、医学生の頃のように立ち返って取り組んでいます。コロナ禍にあるなか、おかげ様で病院自体は通常の診療体制が維持されております。ほぼ毎月研修医の先生も来られ初診見学などもさせています。以上が私の近況ですが、大学定年まで興味をもっていた統合失調症や双極性障害の認知機能からは少し離れた仕事をしております。振り返りますと、岡山大学助教授まで、獨協医科大学教授時代、そして現在と周囲の状況に適応したというか、節操もなく興味の的を変えていったというのが私の歩んできた道だったのかと思います。

獨協医科大学奉職期間に皆様からいただいた御厚情に改めて感謝申し上げます。末尾になりましたが、下田和孝主任教授が率いられる獨協医科大学精神神経医学講座のますますの御繁栄をお祈り申し上げ、近況報告の挨拶といたします。

―― 近況報告 ――

感謝と近況報告～大津から～

滋賀医科大学精神医学講座
藤　井　久彌子

懐かしい皆さん、お変わりないでしょうか。

2019 年 11 月に栃木県から滋賀県に戻り 10 ヶ月が経過しました。18 歳から 20 年間住んでいた街は随分と変わっており不思議な感覚でしたが、ようやく現実感をもって生活できるようになりました。12 年半強の歳月の間に、栃木県では多くの方々に本当に親切にしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。もっときちんとお礼をひとりひとりの方々にお伝えしたかったのに、それが叶わずに大津に向かってしまい、改めてこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

獨協医科大学での職員の方々が持っておられる帰属感や誇りが、大学の雰囲気を構成して、そこで勤務する人の気持ちを和ませ勇気づけるということを実感し、その恩恵にあずかり私も心地よく過ごさせていただき、まさに第二のふるさと、になりました。思い出を挙げるときりがありません。COVID-19 の感染が拡大してから、空を仰ぎながら、空はこんなに広くて大きいのに、移動できない現実を感じながら、また、自由に動けるようになったら関東平野の広大さを感じることのできる御地に出かけようと考えていると、楽しくなるものです。まさに、“自己”認知療法です。13 年前に、皆さんにお会いするご縁をくださった下田教授には感謝しております。栃木で関西弁を使い続けた私が、関西に戻り「だいじ」という言葉が不意に出てくるときに我ながらちょっとびっくりして、そして同時に温かい感覚になっています。

今、私が住んでいる大津は、琵琶湖までも歩いてすぐです。COVID-19 問題が終息した暁には、ぜひぜひお越しください。美味しいものや心が和む景色をご紹介できること必至です！　ちょっと足を延ばせば、京都・大阪・神戸の三都市めぐりも可能です。顔と顔を合わせて喋ることの大切さを、この状況になって再確認している今日この頃、また皆さんと楽しく笑ってお話しできる機会を楽しみに、母校で自分の果たすべき役割に向き合い力を注ごうと思っております。本当にありがとうございました、というお礼と同時に、今後共どうぞよろしくお願い申し上げます。

写真は、琵琶湖と栃木県から大津に戻る前に、1 週間身を寄せていたドミトリーからの眺めです。

研究紹介『幾年も QT 間隔を測り続けて・・・』

獨協医科大学精神神経医学講座
岡　安　寛　明

今から 11 年前、大学院に入学し、尾関祐二先生（現滋賀医科大学精神医学講座教授）の指導の下、向精神薬と QT 間隔との関連について、検討をするため、ひたすら心電図上の QT 間隔を測定し続けてきました。そして、気分障害患者において、ある種の抗うつ薬が用量依存性に QT 間隔を延長させることを確認しました。その後、QT 間隔よりも心室性不整脈の予測因子となり得る QT dispersion（12 誘導の最大 QT 値―最小 QT 値）や T wave peak-to-end（T 波の頂点から終末までの時間）に着目して、統合失調症患者や気分障害患者のそれらのデータを集め、ある種の抗精神病薬や抗うつ薬がそれら心電図の指標に影響を与える可能性を見出すことができました。

心電図にノギスをあてて、コツコツコツコツと QT 間隔の測定を地味に地道に続け、例えば当直中に測定しているといつの間にか、日が昇っているということも良くありました。おそらくこれまでに 1 万回以上は QT 間隔を測定していると思います。データ収集をしていると、ときには辛くなり、もういいや、と投げだしたくなることもありました。しかし、集めたデータをじっと見つめて、祈りを込めながら、いざ必殺の重回帰分析をかけ、結果が出るまでのドキドキ感、結果が出たときの感動は言葉では言い表せません。

現在は、QT dispersion よりもさらに強力な心臓突然死の予測因子といわれている心拍変動や瞬時心拍変動といった心臓 1 拍毎の変化から表される様々な指標を計測し、向精神薬投与との関連を調査するという研究を始めております。

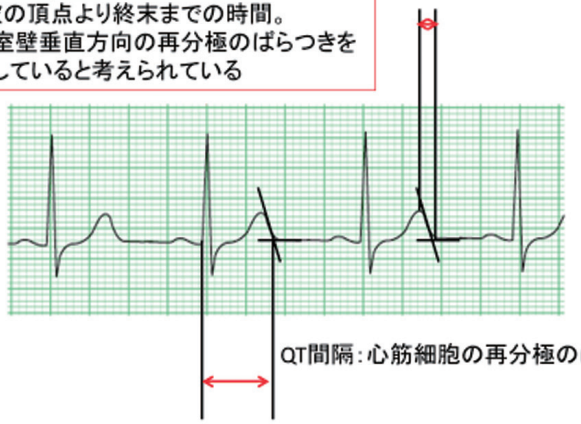
このように、測定する指標が段々とマニアックなものに移行していますが、思い返せば、学生の頃は、循環器系が苦手で、試験もまるでできなかったことを覚えています。そんな、循環器系の苦手な私が、今では、心電図や心拍を用いた研究をテーマとしてそれをライフワークとして今に至るまで続けているというのですから不思議です。

もちろん、これまでのことは決して一人ではできず、本当に多くの方々の協力と支援のおかげでやってこられたものだと感謝しております。ときには、自分の研究が果たして正しいのかどうか、意味があるのかどうかと考え込んだり、不安になったりすることは正直あります。しかし、今は、ただ、これまで私に携わってくれた全ての人達に“感謝と恩返し”のために、自分の研究を続けようと思っております。

最後に、私の行っている研究はとても小さな研究で、大規模調査でもなければ、大衆の目を引くような驚愕の科学的事実を証明するようなものでは決してありません。しかし、たとえ、小さなことであっても何か自分でやってみて、何か結果が出たときって、ちょっと嬉しくないですか？臨床研究の最大のメリットは、『自分が勤務している職場（病院）でできる』ことだと思います。

心室性不整脈を予測するための様々な指標

T wave peak-to-end（Tp-e）
T波の頂点より終末までの時間。
心室壁垂直方向の再分極のばらつきを
表していると考えられている



QT dispersion（QTD）：　心電図におけるすべての誘導のうち最大値と最小値の差
単純なQT間隔より再分極のばらつきをより評価できる

平成 31 年／令和元年　外来統計

獨協医科大学精神神経医学講座　外来医長
川　俣　安　史

平成 31 年 1 月～令和元年 12 月までの新患患者数 934 名、総再来患者数延べ 30,354 名、一ヶ月平均 2,530 名となり、昨年度と比べて新患患者数は微増、再来患者数は微減となりました。

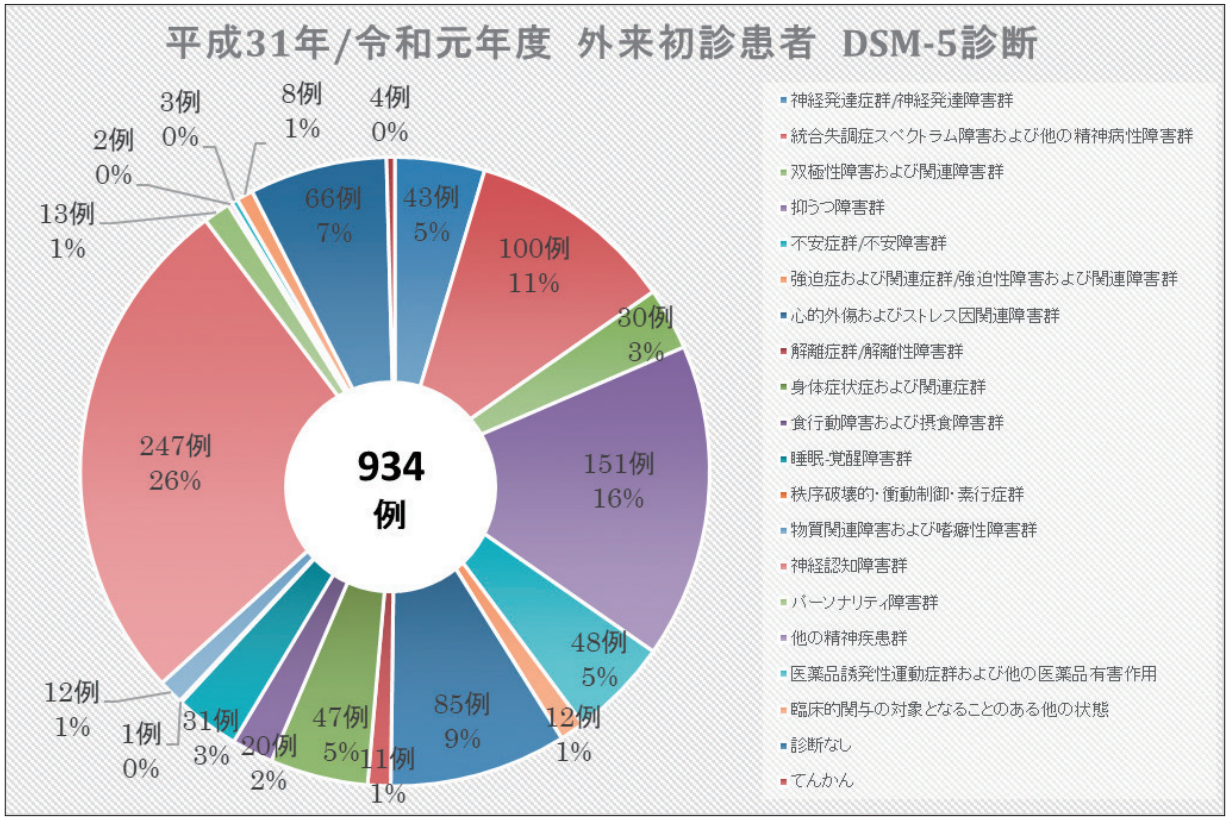
全体の 1/4 を占める神経認知障害群は認知症疾患センターでの新患およびせん妄に関するリエゾンコンサルテーションが含まれています。認知症疾患センターでは脳血流検査、MRI の結果を含めて診断の精度を高めています。認知症疾患センターの予約枠は通常の新患と比べて余裕がありますので、診断困難な症例等はご紹介を何卒よろしくお願い申し上げます。

通常の新患に関しては、流通規制の厳格化が行われたメチルフェニデート塩酸塩徐放錠を必要とする ADHD 症例の対応を行っております。ADHD の構造化面接である CAADID も施行可能であり、診断の検討が必要な症例にも対応しております。

クロザピンの継続処方が必要な治療抵抗性統合失調症の症例への対応を行っております。新規導入は入院が必要ですが、導入後の症例は外来で対応させていただいています。

ベンゾジアゼピンを含む向精神薬に対する処方規制が近年強化され、減薬が必要な症例に対しても鋭意対応させていただいております。

新型コロナウイルスの精神的な影響に対応するため、こころのケアチームを新設し、外来患者・スタッフに対するサポートを行っております。今後も日々変化する情勢に臨機応変に対応して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



平成 31 年／令和元年　入院統計

獨協医科大学精神神経科　病棟医長
篠　﨑　將　貴

関連各病院の先生方には、平素より大変お世話になり誠にありがとうございます。

平成 31 年／令和元年の入院患者統計について報告させていただきます。平成 31 年 1 月～令和元年 12 月までの入院患者数は 182 名（男性 54 名、女性 128 名、平均年齢 57.3 ± 20.4 歳）でした。内訳としては、従来の気分障害圏（抑うつ障害群と双極性障害及び関連障害群）では 42.4%、統合失調症圏が 23.2% と前年度と概ね同様の傾向でありました。

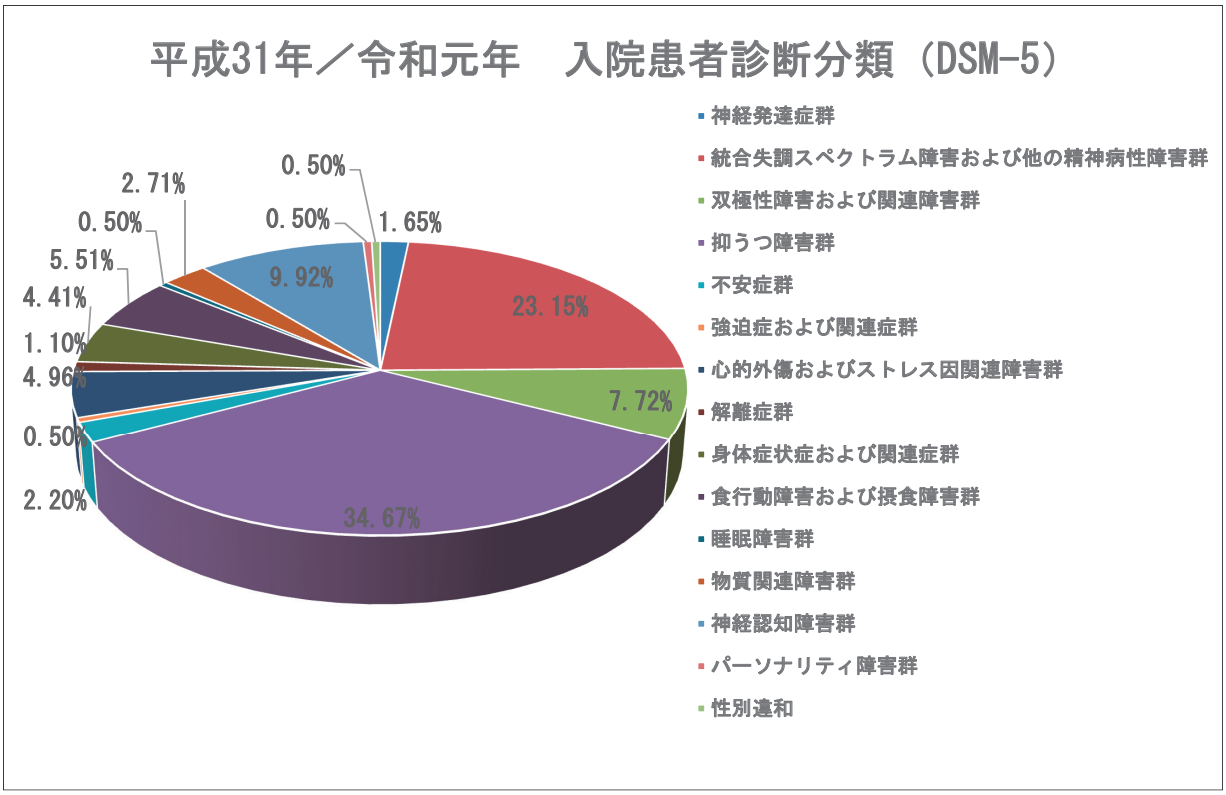
当院は総合病院であることから、身体疾患を合併されている症例が入院患者の約 70% を占め、必要に応じて当該各診療科への診察を依頼し、身体・精神両面にわたった総合的な治療を行っております。また、自殺企図症例などの救急患者に対しても、救命救急センターと連携して診療にあたり、必要があれば、当科での入院治療を継続しております。さらに、一般身体科病棟への入院患者の精神症状に対して、精神科リエゾンチームによる回診を行い、主科と連携して診療にあたるなど、リエゾン・コンサルテーションにも積極的に取り組んでいます。

当院は、平成 29 年 3 月に、日本総合病院精神医学会の電気けいれん療法（ECT）研修施設として認定されており、麻酔科医の協力の下、ECT を積極的に実施しております。平成 31 年／令和元年は 355 件施行しました。

このように身体合併症があり治療に際して身体科との連携が必要な症例や、ECT が適応となる症例は大学病院精神科が対応していくべきであり、今後も積極的に対応していきたいと考えておりますので、当院での治療が望ましいとご判断頂きました症例は、是非ご紹介いただけますようお願い申し上げます。

一方で、当院の精神科病棟は開放病棟であり、著しい興奮状態にある急性期の症例を常時受け入れられる環境でありません。また、当院での急性期治療が終了した後に長期的な継続治療が必要な症例につきまして、当院から転院依頼をさせていただく場合があり、その際には各関連病院の先生方には是非に御協力をいただけると幸いです。

大学病院精神科の特色を生かしつつ、地域の精神科病院の要望に応えることができるように医局員一同、不断の努力をしていく所存ですので、これまで同様の御支援の程、何卒よろしくお願いいたします。


平成31年／令和元年　入院患者診断分類（DSM-5）
0.50%
2.71%
0.50%
0.50%
1.65%
5.51%
9.92%
4.41%
23.15%
1.10%
4.96%
7.72%
0.50%
2.20%
34.67%
神経発達症群
統合失調スペクトラム障害および他の精神病性障害群
双極性障害および関連障害群
抑うつ障害群
不安症群
強迫症および関連症群
心的外傷およびストレス因関連障害群
解離症群
身体症状症および関連症群
食行動障害および摂食障害群
睡眠障害群
物質関連障害群
神経認知障害群
パーソナリティ障害群
性別違和

—— 教室便り ——

人事往来

■2019年度

田﨑みなみ	レジデントとして採用（2019 年 4 月 1 日）
古川　葵	レジデントとして採用（2019 年 4 月 1 日）
菊池昂太	学内助教として採用（2019 年 4 月 1 日）
川俣安史	滝澤病院より復帰（2019 年 7 月 1 日）
佐藤由英	室井病院に転任（2019 年 10 月 1 日）
横山宜史	埼玉江南病院に転任（2019 年 10 月 1 日）
近藤年隆	三重県武内病院へ転出（2019 年 4 月 1 日）
大曽根　彰	定年退職　蔵の街メディカルケア開院（2019 年 4 月 1 日）
藤井久美子	滋賀医科大学へ転出（2019 年 10 月 1 日）
古郡規雄	弘前大学から着任（2019 年 4 月 1 日）
菅原典夫	国立精神・神経医療研究センターから着任（2019 年 4 月 1 日）
林　有希	氏家病院から復帰（2020 年 1 月）

2020 年 1 月現在の講座スタッフ

主任教授	下田和孝
准教授	古郡規雄
学内准教授	菅原典夫
学内講師	岡安寛明（医局長）
学内助教	藤平明広（外来医長）、長谷川千絵、林　有希、篠﨑將貴（病棟医長） 川俣安史、菊池昂太、北原亜加利
レジデント	横山沙安也、大和田　環、北林佳晃、田﨑みなみ、古川　葵
大学院生（社会人大学院生）	佐々木はづき、佐々木太郎、徳満敬大、横山沙安也、田﨑みなみ
臨床心理士	小西　徹、新井玲子、袴田リナ（育休中）
医局秘書	大橋留生
学内講師(派遣)	小杉真一（大澤台病院）、佐伯吉規（がん研有明病院） 石川高明（埼玉江南病院）、渡邊　崇（菊池病院）
助教(派遣)	鈴木武士（氏家病院）、上田幹人（滋賀里病院・大津心療内科）
学内助教(派遣)	室井宏文（室井病院）、鮎瀬　武（菊池病院）萩野谷真人（日立梅が丘病院） 青木顕子（森病院）、篠﨑隆央（鹿沼病院）、加藤征樹（さくら・ら心療内科） 高野有美子（大栗内科）、竹内祥貴（栃木県立岡本台病院） 白木亮祐（栃木県立岡本台病院）、佐々木はづき（栃木県立岡本台病院） 佐々木太郎（栃木県立岡本台病院）、佐藤由英（室井病院） 横山宜史（埼玉江南病院）
研究生	佐藤勇人（佐藤病院）、森　和也（佐藤病院）、井上義政
名誉教授	大森健一（滝澤病院）
特任教授	高橋三郎（埼玉江南病院）
非常勤講師	中野隆史、黒田仁一、朝日晴彦（朝日病院）、朝日公彦（朝日病院） 駒橋　徹（鹿沼病院）、藤沼仁至、渡邉昭彦（川村学園女子大学） 室井秀太（室井病院）、岡田正樹（日立梅ヶ丘病院） 石黒　慎（こころの花クリニック）

新入医局員挨拶

獨協医科大学精神神経医学講座
菊　池　昂　太

平成 31 年 4 月に精神神経科に入局しました。入局して月日が経ち、高校時代以来の栃木県の風土や気候を思い出し、獨協医科大学病院や精神科の仕事にも少しずつ慣れ、精神科疾患特有の問題や奥深さが感じられ始めてきたのかなと、思う日々を送っております。

私は都内の大学病院で初期臨床研修を終えた後、同病院で脳神経内科に入局した経緯があります。実家は益子町で単科精神科病院をしており、医学生の頃から漠然と精神科に行くのだと思っておりました。しかし、たまたま研修医時代に勉強させて頂いた脳神経内科にて、精神医学で遭遇する様な昏迷状態を疑う意識障害や parkinsonism などの神経所見の取り方、精神科と重なる疾患であるてんかんならびに認知症、解離性障害の診察方法を学ぶ機会に触れ興味を持ちました。将来精神科医となる上で脳神経内科にて学ぶ経験は、自身の臨床医としてのバックグラウンドを広げられと思い、2 年間という短い期間ではありましたが脳神経内科の勉強をさせて頂いた次第です。今となっては月日が経ったことで、その時に学んだ内容を忘れてしまっている事も多々ありますが、その時の経験や考え方が今の精神科での日常臨床に生きている事もあり、少し内科や脳神経内科に精通した精神科医として精進しております。

栃木県という生まれた地に戻り、心機一転精神科医として勉強させて頂いておりますが、これまでの経験とは一味違う精神科臨床では、まだ至らない点が多く、医局の先生方に多大なご迷惑をおかけしてしまっております。患者様が望む質の高い医療を目指し、早く 1 人前と言って頂ける様な知識と経験を身に付け、生涯を通じて栃木県の精神科医療に貢献ができればと考えております。同門の先生方におきましては、末長いお付き合いとご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い致します。

入局のご挨拶

獨協医科大学精神神経医学講座
田　﨑　みなみ

まず新入局員挨拶のお話を頂いたときに、入局の挨拶とはどんなことを書いたら良いのか？というところで悩んだ。志望動機なのか、それとも、これから宜しくお願いしますというあり触れた内容なのか、はたまた精神科の魅力についてなのか。そこで、参考に当科のホームページの挨拶を見たところ、「人間味あふれ、biopsycho-social な視点を備えた精神科医の育成を目指す」と書いてあった。不勉強な私は biopsycho-social という言葉が分からずググってみると、バイオとは体、サイコとは心、ソーシャルとは社会であり、様々な問題をこの３つの側面で捉え、理解していく考え方の事だと書いてあった。例えばうつ病に当てはめると、気分の落ち込みというサイコをメインとするが、脳の働きというバイオと関係があり、また、要因として生活環境や対人関係というソーシャルが根底にあると考えられているということらしい（東京認知行動療法センターの HP より抜粋）。これを当科の医局に当てはめて考えてみると、今のところ適応障害というサイコの状態になることもなく、持病持ちの私でもやっていける程度のバイオの酷使（肉体労働）であり、医局に顔を出してレジデントの自分と雑談に応じてくれるような気さくで面倒見の良い教授と、細かい所まで丁寧に指導してくれる指導医の先生方や、優しい同僚という恵まれたソーシャルが整った医局といったところだろうか。

こうして書いてみると、改めて恵まれた環境にいることを感謝するとともに、自分なりに人間味あふれ、biopsycho-social な視点を持つ精神科医を目指して行きたいと思います。

新入局員挨拶

獨協医科大学精神神経医学講座
古　川　　葵

あっという間に入局して１年半が経ちました。平成 31 年度に入局した古川葵と申します。どうぞよろしくお願い致します。

学生時代は某外科の道にも興味を持っていたのですが、どんな医師になりたいかを考えたときに自分とはどうも違うなぁと考えました。話をじっくり聞いて患者さんに寄り添うような治療がしたいと考えていた矢先に精神科病院での実習があり、精神疾患に興味を持ち、今に至ります。上司・先輩・同期に（今年からは後輩にも）恵まれて楽しく学ばせていただいております。本当に有難うございます。

少し話は変わりますが、自己紹介ついでに私の趣味の落語の話をさせて下さい（他県で研修医をしていた頃、私は仕事が早く終わるモノなら寄席に通ったほどの「大・落語ファン」であります）。落語の中に『堀の内』というお噺があります。これは粗忽者（現代語訳すると多動で注意散漫の者の意）の通称「熊さん」が自分のそそっかしい癖を治したくてお参りに行く噺です。お参りに行こうとは思ったものの、熊さんは粗忽者ですから風呂敷と腹巻きを間違えて掴んだり、弁当だと思って枕を持ってきたり、財布ごとお賽銭箱に入れてしまいます。落語を聞いているお客達は私を含め、最初こそケラケラ笑っているのですが、徐々に熊さんが愛しく感じるから不思議なものです。江戸の住人達が温かく受け入れている姿に影響されるのでしょうか。「困ったやつだけど憎めないなあ」という姿勢が落語の世界にはあるようです。私はこの優しい空気が凄く好きです。

アルコール問題を扱った『芝浜』・『親子酒』では主人公を人間味たっぷりに描きつつ、断酒の困難さをユーモア交えて描いており、精神科に携わる方が聞くとまた違った視点もあるかと思いますので是非動画等でご視聴下さい。

COVID-19 の影響が落ち着きましたら、寄席に行って直接落語を聞いてみて下さい。新宿末廣亭の木造建築は特に江戸の情緒たっぷりで、赤い提灯、出囃子の音楽、立て札がとてもワクワクさせてくれます。初心者では行きづらいなあと思いましたらお声をかけて下されば幸いです。

さて、長々と文章を書いてしまいましたが私も粗忽者のケがあり、実はこれ、締め切りから１ヶ月と２日経っております（同期の田﨑先生ごめんなさい！）。

粗忽者の私ですが、ご指導・ご鞭撻のほど、お願いいたします。「困ったやつだけど憎めないなあ」と思って下されば幸いです。これからも宜しくどうぞお願い致します。

～獨協医科大学・新潟大学対抗戦レポート～

医療法人仁和会　埼玉江南病院　ゴルフ部部長
石　川　高　明

毎年恒例の新潟大学精神科ゴルフ部との第12回対抗戦（幹事：獨協医科大学）が平成31年10月27日に鹿沼カントリー倶楽部にて開催されました。鹿沼カントリー倶楽部は漫画「風の大地」の舞台になったコースです。新潟大学は染矢教授を中心に宮本先生、福井先生、須貝先生の4名、万全の布陣です。かたや獨協医大は下田教授、林先生、川俣先生、石川という心許ないメンバー構成でしたが、下田教授が危機感を抱き、今回から助っ人として県立岡本台病院の増井先生に参戦していただきました。

ゴルフ同様に新潟大学の方々との宴会は毎年楽しみなイベントですが、当時はコロナ禍ではなかったため宇都宮餃子とお酒を楽しみながら翌日のラウンドに向けて英気を養いました。対抗戦当日はコンディションも良く、ラウンドを楽しみました。増井先生が期待通りの活躍を見せて獨協チームで唯一100切りしたものの、あとのメンバーは6、7、8、9位と今回も惨敗してしまいました。個人優勝は新潟大の染矢教授であり、ベスグロ（45-37）とともに栄冠に輝きました。ちなみに染矢教授はこれまでに参加されたすべての対抗戦でベスグロを獲得しております。私自身は前日の宴会で十分に英気を養ったものの、気合が空回りしてスコアアップに全く繋がりませんでした。次回の対抗戦に向けて下田教授はひとりラウンドに行くなど研究に余念がありません。オリンピック同様、対抗戦も1年延期になりましたが、次戦は2年分の気合を込めて臨みたいと思います。次戦こそ勝利するために各メンバーがより一層精進しなければなりません。また、獨協医大ゴルフ部に活力を与えてくれる新メンバーの加入が待ち望まれます。次回の対抗戦の結果やいかに。

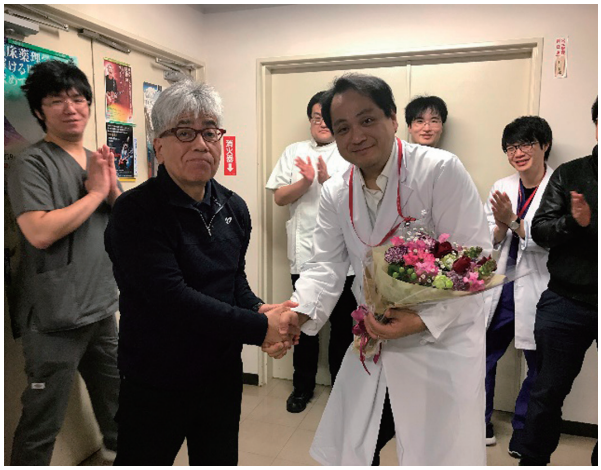
漫画の中で主人公が食したステーキサンドです。
下田先生にご馳走してもらいましょう！

—— 写真で見る講座・大学の動き ——

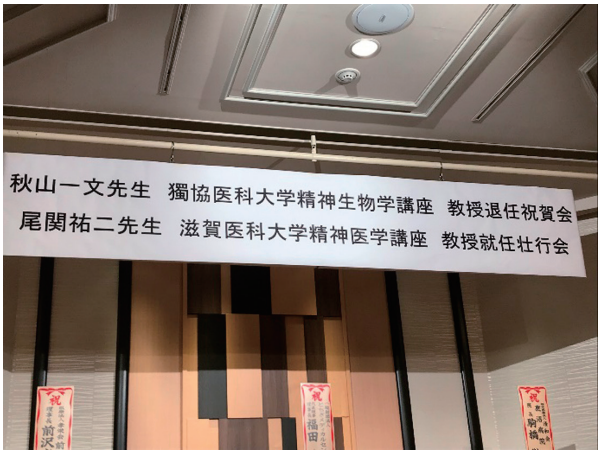
毎年参加される大森健一先生（獨協医科大学　名誉学長・名誉教授　医療法人　至誠会理事長）
獨協医科大学赴任前に既に医局旅行に参加する古郡規雄准教授
（2018年度医局旅行　鬼怒川プラザホテル　2019年3月23日-24日）

2018年度医局旅行　鬼怒川プラザホテル　2019年3月23日-24日

みんな結構踊るし、結構歌う♬（2018年度医局旅行　鬼怒川プラザホテル　2019年3月23日-24日）



尾関祐二先生、滋賀医科大学精神医学講座教授として御栄転！！頑張ってください！！（2019年2月27日）



秋山一文先生　獨協医科大学精神生物学講座　教授退任祝賀会　尾関祐二先生　滋賀医科大学精神医学講座
教授就任壮行会（宇都宮東武ホテルグランデ　2019年3月25日）

秋山一文先生　獨協医科大学精神生物学講座　教授退任祝賀会
尾関祐二先生　滋賀医科大学精神医学講座　教授就任壮行会
（宇都宮東武ホテルグランデ　2019年3月25日）

菅原典夫准教授、古郡規雄准教授、赴任（2019年4月2日）

ピカピカの１年生
（左から石井沙安也先生、徳満敬大先生、田﨑みなみ先生 獨協医科大学大学院入学式、2019年4月6日）

近藤年隆先生、三重に帰っても頑張ってください！！（2019年3月30日）

杏林大学　今村弥生先生「漫画の精神医学」（第12回Psychiatry club、壬生、2019年6月10日）

2019年度納涼会　宇都宮グランドホテル、2019年7月1日

毎年必ず参加される大森健一先生（左）、初参加の増井　晃先生（栃木県立岡本台病院院長）
（2019年度納涼会　宇都宮グランドホテル、2019年7月1日）

2019年度納涼会　宇都宮グランドホテル、2019年7月1日

日本と中華人民共和国の薬理学の強い絆
(The 7th China Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, Kunming, China, August 3-6, 2019)

篠崎將貴先生、Excellent oral presentation award 第3位獲得!!　初めての英語発表でこの快挙!! Fantastic!!
（The 7th China Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, Kunming, China, August 3-6, 2019）

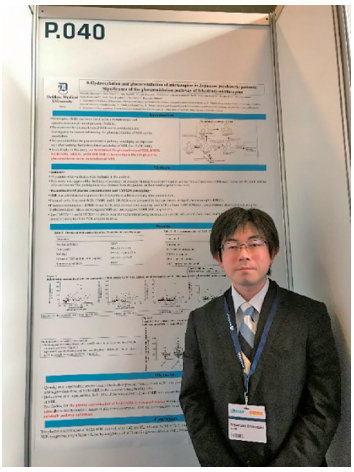
ガイドさんの「煮込めばキノコの毒は消える」とのコメントにドン引きする安西尚彦教授（千葉大学）と古郡規雄准教授
（The 7th China Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, Kunming, China, August 3-6, 2019）

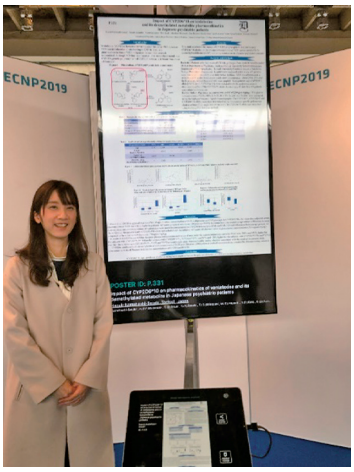
石林にて
（The 7th China Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, Kunming, China, August 3-6, 2019）

突然のblues brotherの来訪（佐々木剛先生（千葉大学）、2019年8月9日）

Copenhagenに来たらここでしょ
(32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, Copenhagen, Denmark, September 7-10, 2019)

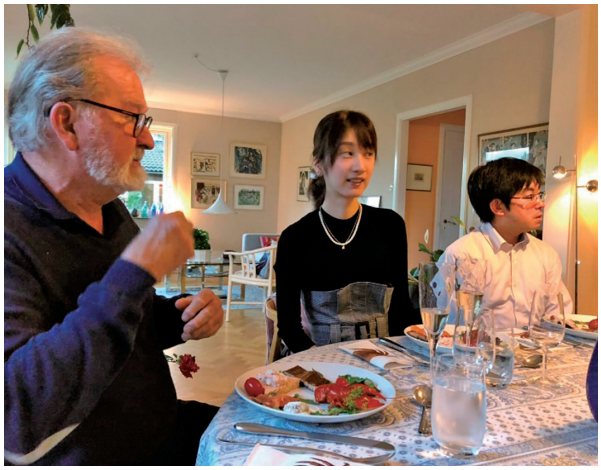
蠍団（Scropions）、鋼鉄の処女（Iron Maiden）、Chick Corea師匠、Rick Wakeman先生、
Rita Coolidge姉さんなど錚々たる方々が宿泊したホテルに宿泊
(32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, Copenhagen, Denmark, September 7-10, 2019)



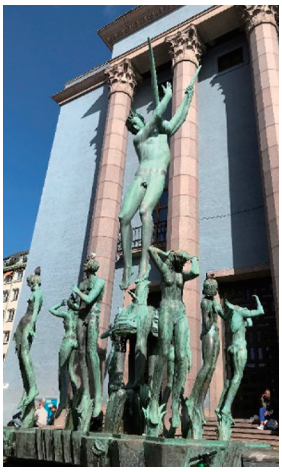


篠崎將貴先生、佐々木はづき先生の発表
(32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, Copenhagen, Denmark, September 7-10, 2019)

CopenhagenのNyhavnにて。駒橋　徹先生（清和会　鹿沼病院　院長）も合流
(32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, Copenhagen, Denmark, September 7-10, 2019)



Leif Bertilsson教授（Karolinska Institutet, Sweden）のご自宅へ
(Stockholm, Sweden, September 11, 2019)



やっぱりStockholmはいいねえ（Stockholm, Sweden, September 10-12, 2019）

下田教授は古巣を訪れる（Stockholm, Sweden, September 12, 2019）

海外交流を通して日本の精神医療を考える会（海精会）の夕食会
いきなり植松昌俊会長（医療法人　和敬会国見ケ丘病院　理事長）から「挨拶を……」とふられ、Sweden語と英語を混ぜて何とかごまかす
（Operakällaren, Stockholm, Sweden, September 12, 2019）

恒例となった自治医科大学精神科との交流会。北林佳晃先生の発表
（第5回栃木県精神科医療フォーラム、2019年9月18日、下野）

ほんまに「えぐいで」EGUIDE@Dokkyo（2019年10月19日-20日、壬生）

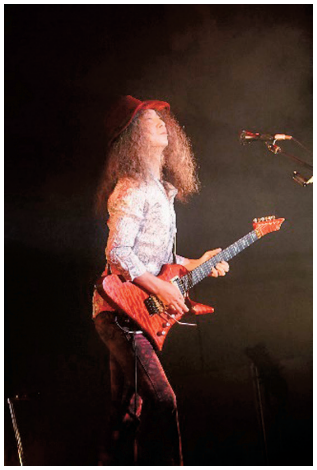
第49回日本神経精神薬理学会会長招宴（福岡、2019年10月10日）

菅原典夫准教授（左）、下田和孝教授（右）
（第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、福岡、2019年10月11日-13日）

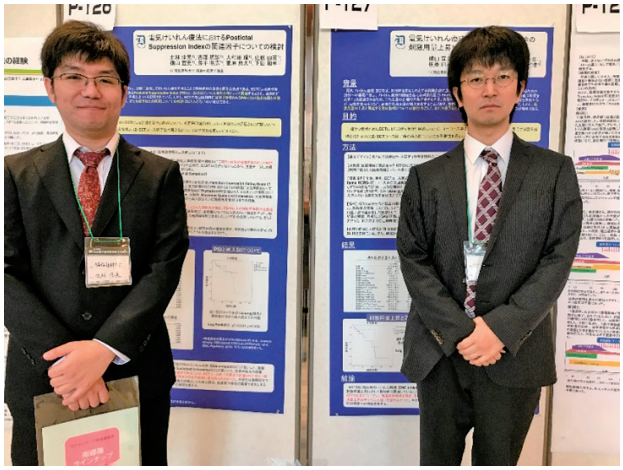
佐々木太郎先生（左）、北林佳晃先生（中）、石井沙安也先生
（第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、福岡、2019年10月11日-13日）

宮田久嗣教授（東京慈恵会医科大学）と下田和孝教授
（第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、福岡、2019年10月11日-13日）

台湾の先生方と。特に林　式穀先生（左端）と下田教授は20数年の付き合い
（第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、福岡、2019年10月11日-13日）

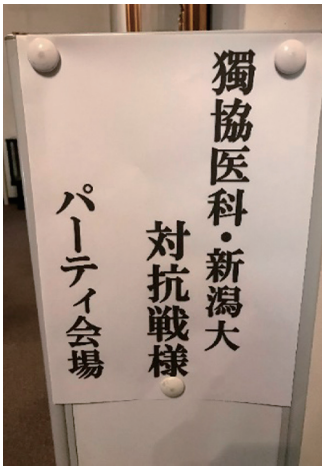


山本恭司師匠のguitarの咆哮！！
（第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、福岡、2019年10月11日-13日）



北林佳晃先生、横山宜史先生の発表
（第32回日本総合病院精神医学会総会、倉敷、2019年11月15日-16日）

獨協医大精神科軍団そろい踏み（第32回日本総合病院精神医学会総会、倉敷、2019年11月15日-16日）



獨協医科大学-新潟大学ゴルフ対抗戦　結果の詳細は石川高明先生のレポートをご覧ください
（鹿沼カントリー倶楽部、2019年10月27日）

精神科専攻医・勧誘の夕べ。そのまま前原　陵先生、織田裕美子先生、入局宣誓の儀
（壬生、2019年11月22日）

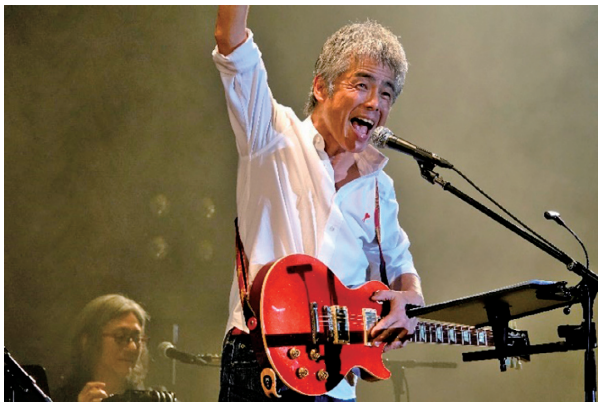
慶應義塾大学　竹内善啓先生「統合失調症薬物治療における投与法　―ドグマとエビデンス―」
（第13回Psychiatry club, 2019年12月9日、壬生）

獨協医科大学総合診療科軍団と
（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）

なかなかの盛況（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）

Leif Bertilsson教授（Karlinska Institutet, Sweden）と大谷浩一教授（山形大学）
（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）

San Goo Shin先生（Seoul National University, Korea）も東京に来てくれた
（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）



うじきさん、懇親会を盛り上げていただいてありがとうございました。
「ロックにはまだなにかできることがあるんじゃないのか？」ですよね♬
（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）

左から根岸孝旨さん（Bass）、うじきつよしさん（Guitar, Vocal）、友成好宏さん(Keyboard)、
小田原豊さん（Drums）、盛り上げてくれてありがとうございます♬
（第41回日本臨床薬理学会学術総会、京王プラザホテル、2019年12月4日-6日）

野木　渡先生（公益社団法人　日本精神科病院協会副会長、医療法人微風会　浜寺病院理事長）によるご講演
（2019年度獨協医科大学精神神経医学講座同門会総会、宇都宮東武ホテルグランデ、2019年12月7日）

下田教授の開会の辞　前原　稜先生、織田裕美子先生の「入局宣言」
（2019年度獨協医科大学精神神経医学講座同門会・精神科合同忘年会、宇都宮東武ホテルグランデ、2019年12月7日）

（2019年度獨協医科大学精神神経医学講座同門会・精神科合同忘年会、宇都宮東武ホテルグランデ、2019年12月7日）

特別ゲストの「タクト君」たぐいまれなる才能。宇都宮の夜は更け行く♬
（2019年度獨協医科大学精神神経医学講座同門会・精神科合同忘年会、宇都宮東武ホテルグランデ、2019年12月7日）

2019年9月　獨協医科大学精神神経医学講座集合写真

令和元年　獨協医科大学精神神経科教室同門会総会議事録

令和元年 12 月 7 日　　於：宇都宮東武ホテルグランデ

当日 22 人の出席、51 名からの委任状により総会開催となりました。下記のように議事進行されました。

1、会長挨拶　　佐藤 勇人 会長

2、議　　事

（1）平成 30 年－令和元年（H30.12. － R1.11.）事業報告

1、同門会総会・記念講演会開催　平成 30 年 12 月 8 日　於：宇都宮東武ホテルグランデ

記念講演会 「役に立つ多文化精神医学 Tips」

東邦大学医療センター　佐倉病院

メンタルヘルスクリニック　桂川　修一 先生

2、平成 30 年－令和元年 宮坂賞表彰　　平成 30 年 12 月 8 日　於：東武ホテルグランデ

受賞者　篠﨑　將貴先生（獨協医科大学精神神経医学講座）

受賞理由：抗うつ薬の薬物動態学的研究に邁進している

3、同門会誌 第 10 号 発行

4、令和元年－ 2 年 宮坂賞選考

受賞者　佐々木太郎先生、佐々木はづき先生（獨協医科大学精神神経医学講座）

受賞理由：抗うつ薬の薬物動態学的研究に邁進している

5、黒田仁一先生　栃木県立岡本台病院院長退任記念祝賀会 開催　平成 30 年 3 月 9 日

（2）平成 30 年 - 令和元年決算報告（詳細は略させていただきます。）

（3）令和元年－ 2 年（R1.12. － R2.11.）事業計画

1、同門会総会・記念講演会開催　令和元年 12 月 7 日　於：宇都宮東武ホテルグランデ

記念講演会 「精神保健指定医制度の変更点について　－新規申請を中心に－」

浜寺病院　野木　渡　先生

2、令和元年 -2 年　宮坂賞表彰　　令和元年 12 月 7 日　於：東武ホテルグランデ

受賞者　佐々木太郎先生、佐々木はづき先生（獨協医科大学精神神経医学講座）

受賞理由：抗うつ薬の薬物動態学的研究に邁進している

3、同門会誌 第 11 号 発行

4、令和 2 － 3 年 宮坂賞選考

（4）平成 30 年 - 令和元年予算案（詳細は略させていただきます。）

（2）（4）について、会計責任者、監事などからの説明があり承認されました。

（5）令和元年－ 3 年（R1.12 － -R3.11）役員改選

会　長　　佐藤勇人

世話人　　下田和孝　藤沼仁至　朝日晴彦　松村　茂　岡安寛明

監　事　　駒橋　徹　室井秀太

以上にて、無事総会が終了しました。

—— 2019 年の講座業績 ——

■2019年業績

＜英文原著＞

Okayasu H, Ozeki Y, Fujii K, Takano Y, Shinozaki T, Ohrui M, Shimoda K
Investigation of the proarrhythmic effects of antidepressants according to QT interval, QT dispersion and T Wave peak-to-end interval in the clinical setting.
Psychiatry Investigation 16(2):159-166, 2019. doi: 10.30773/pi.2018.12.11

Akamine Y, Yasui-Furukori N, Uno T.
Drug-drug interactions of P-gp substrates unrelated to CYP metabolism.
Current Drug Metabolism 20(2):124-129, 2019. doi: 10.2174/1389200219666181003142036

Kurauchi G, Endo M, Odaira K, Ono R, Koseki A, Goto M, Sato Y, Kon S, Watanabe N, Sugawara N, Kimura E, Takada H. Caregiver Burden and Related Factors Among Caregivers of Patients with Myotonic Dystrophy Type 1. J Neuromuscular Disorders 6(4):527-536, 2019. doi: 10.3233/JND-190386

Akiyama K, Saito A, Saito S, Ozeki Y, Watanabe T, Fujii K, Shimoda K
Association of genetic variants at 22q11.2 chromosomal region with cognitive performance in Japanese patients with schizophrenia
Schizophrenia Research : Cognition 17:100134, 2019. doi: 10.1016/j.scog.2019.100134

Yamada Y, Inagawa T, Sueyoshi K, Sugawara N, Ueda N, Omachi Y, Hirabayashi N, Matsumoto M, Sumiyoshi T. Social Cognition Deficits as a Target of Early Intervention for Psychoses: A Systematic Review.
Frontiers in Psychiatry. 10:333, 2019. doi: 10.3389/fpsyt.2019.00333

Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. Personality associated with depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus. Neuropsychiatric Disease and Treatment 15:1133-1139, 2019. doi: 10.2147/NDT.S200012

Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. Personality associated with depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus.
Neuropsychiatric Disease and Treatment. 15:1133-1139, 2019. doi: 10.2147/NDT.S200012

Shinozaki M, Pierce J, Hayashi Y, Watanabe T, Sasaki T, Komahashi-Sasaki H, Akiyama K, Kato K, Inoue Y, Tsuchimine S, Yasui-Furukori N, Ozeki Y, Shimoda K.
8-hydroxylation and glucuronidation of mirtazapine in Japanese psychiatric patients: significance of the glucuronidation pathway of 8-hydroxy-mirtazapine.
Pharmacopsychiatry. 52(5):237-244, 2019. doi: 10.1055/a-0918-6408

Kawanishi H, Sekiguchi A, Funaba M, Fujii Y, Yoshiuchi K, Kikuchi H, Kawai K, Maruo K, Sugawara N, Hatano K, Shoji T, Yamazaki T, Toda K, Murakami M, Shoji M, Ohara C, Tomita Y, Fukudo S, Ando T. Cognitive behavioral therapy with interoceptive exposure and complementary video materials for irritable bowel syndrome (IBS): protocol for a multicenter randomized controlled trial in Japan. BioPsychoSocial Medicine 13:14, 2019. doi: 10.1186/s13030-019-0155-2

Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. Coping behaviors and depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus. Annals of General Psychiatry 18:11, 2019. doi: 10.1186/s12991-019-0235-5. PMID: 31346344

Yasui-Furukori N, Murakami H, Otaka H, Nakayama H, Murabayashi M, Mizushiri S, Matsumura K, Tanabe J, Matsuhashi Y, Yanagimachi M, Nakamura K, Daimon M, Sugawara N. Coping behaviors and depressive status in individuals with type 2 diabetes mellitus.
Annals of General Psychiatry 18:11, 2019. doi: 10.1186/s12991-019-0235-5

Narita Z, Inagawa T, Yokoi Y, Stickley A, Maruo K, Yamada Y, Sugawara N. Factors associated with the use and longer duration of seclusion and restraint in psychiatric inpatient settings: a retrospective chart review.
International Journal of Psychiatry in Clinical Practice 23(3):231-235. doi: 10.1080/13651501.2019.1607878

Maekawa M, Jinnoh I, Matsumoto Y, Narita A, Mashima R, Takahashi H, Iwahori A, Saigusa D, Fujii K, Abe A, Higaki K, Yamauchi S, Ozeki Y, Shimoda K, Tomioka Y, Okuyama T, Eto Y, Ohno K, Clayton P, Yamaguchi H, Mano N.
Structural determination of lysosphingomyelin-509 and discovery of novel class lipids from patients with Niemann-Pick disease type C International Journal of Molecular Sciences ;20(20). pii: E5018, 2019. doi: 10.3390/ijms20205018

Tomita T, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N.
Sex differences in psychoeducation for patients with depression: a comparison of frequency and efficacy of psychoeducation.

Neuropsychiatr Dis Treat. 15:3069-3078, 2019. doi: 10.2147/NDT.S207544

Tomita T, Kudo S, Sugawara N, Fujii A, Tsuruga K, Sato Y, Ishioka M, Nakamura K, Yasui-Furukori N. Sex Differences In Psychoeducation For Patients With Depression: A Comparison Of Frequency And Efficacy Of Psychoeducation.
Neuropsychiatric Disease Treatment 15:3069-3078, 2019. doi: 10.2147/NDT.S207544

Takeda K, Sugawara N, Matsuda T, Shimada A, Nagata T, Kashiwagi H, Hirabayashi N, Okada T. Mortality and suicide rates in patients discharged from forensic psychiatric wards in Japan. Comprehensive Psychiatry 95:152131, 2019. doi: 10.1016/j.comppsych.2019.152131

Yokoyama N, Shiraki R, Watanabe T, Shiinoki M, Nin M, Shimizu T, Yasui-Furukori N, Shimoda K.
Difficult differentiation of a somatic symptom disorder from anterior cutaneous nerve entrapment syndrome (ACNES): a case report.
BMC Psychiatry. 19(1):394, 2019. doi: 10.1186/s12888-019-2390-2

Takeda K, Sugawara N, Yamada Y, Nagata T, Kashiwagi H, Kono T, Hirabayashi N, Okada T. Employment-Related Factors of Forensic Psychiatric Outpatients with Psychotic Disorders. Neuropsychiatric disease Treatment 15:3341-3350, 2019. doi: 10.2147/NDT.S228916

＜和文原著＞

宋　大光、東　豊、下田和孝
発症から10年が経過した統合失調症に対してシステムズアプローチに基づいた精神療法で軽快した1例　～医師と患者の関係性を見る～
精神神経学雑誌　121:376-383, 2019

＜英文総説＞

Sugawara N, Yasui-Furukori N, Sumiyoshi T. Competence to Consent and Its Relationship With Cognitive Function in Patients With Schizophrenia. Front Psychiatry. 2019 Apr 12;10:195. doi: 10.3389/fpsyt.2019.00195. PMID: 31031653

＜和文総説＞

菅原 典夫、古郡規雄、下田和孝
研究者からみた臨床研究法の課題
精神科　11：440-4432, 2019

古郡規雄、下田和孝
リアルワールドエビデンスの重要性　　―展望について―
臨床精神薬理　22:1147-1151, 2019

古郡規雄、藤平明広、下田和孝
肥満者に対する精神科薬物療法
臨床精神薬理　22:1213-1217, 2019

菅原典夫
精神科医が気をつけるべきインシデント―その対策と予防―
サルコペニア 精神科 35: 75-80, 2019

菅原典夫
統合失調症の治療ゴールをめぐって身体的健康の視点から
精神医学 61: 403-410, 2019

石岡雅道、古郡規雄
電気けいれん療法の可能性
精神科 34: 65-68, 2019

久保一利、古郡規雄
抗精神病薬・抗うつ薬併用時の薬物相互作用
月間薬事 61: 633-637, 2019

古郡規雄
抗精神病薬による代謝系異常
精神科治療学34: 50-506, 2019

佐伯吉規
薬の知識　ヒルナミン：特集緩和ケアで知っておきたい抗精神病薬と精神疾患
緩和ケア29:313-315, 2019

佐伯吉規、山田健志、川原玲子
がん患者のせん妄
診療研究 547:13-19, 2019

佐伯吉規、川原玲子
さまざまな背景のある患者にどうする？　―リアルワールドの薬物療法：周術期における向精神薬管理
臨床精神薬理　22:1195-1203, 2019

＜和文著書＞
新見正則、古郡規雄
フローチャートメンタル漢方薬 新興医学出版社, 2019

＜国際学会発表＞

Shinozaki M, Pierce J, Hayashi Y, Watanabe T, Sasaki T, Komahashi-Sasaki H, Akiyama K, Kato K,Inoue Y, Tsuchimine S, Yasui-Furukori N, Ozeki Y, Shimoda K.
8-Hydroxylation and glucuronidation of mirtazapine in Japanese psychiatric patients: Significance of the glucuronidation pathway of 8-hydroxy-mirtazapine. The 7th China-Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, August 3-6, 2019, Kunming, China

Komahashi-Sasaki H, Watanabe T, Inoue Y, Sasaki T, Shinozaki M, Hayashi Y, Kato K, Kuroda J, Yasui-Furukori N, Shimoda K.
Impact of CYP2D6*10 on venlafaxine and its desmethylated metabolite pharmacokinetics in Japanese psychiatric patients
32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, September 7-10, 2019, Copenhagen, Denmark

Shinozaki M, Pierce J, Hayashi Y, Watanabe T, Sasaki T, Komahashi-Sasaki H, Akiyama K, Kato K, Inoue Y, Tsuchimine S, Yasui-Furukori N, Ozeki Y, Shimoda K.
8-Hydroxylation and glucuronidation of mirtazapine in Japanese psychiatric patients: Significance of the glucuronidation pathway of 8-hydroxy-mirtazapine
32nd Annual meeting of European College of Neuropsychopharmacology, September 7-10, 2019, Copenhagen, Denmark

Sasaki T, Watanabe T, InoueY, Sasaki H, Shinozaki, M, Aoki A, Hayashi Y, Kato K, Kuroda J, Yasui-Furukori N, Shimoda K.
Effects of CYP2D6 polymorphism on enantiomeric metabolism of venlafaxine and O-desmethylvenlafaxine in Japanese patients
6th Asian College of Neuropsychopharmacology, October 11-13, 2019, Fukuoka, Japan

Ueda S, Kawamata Y, Ehara A, Yamaguchi T, Seo Y, Shimoda K.
A new animal model for "shaken baby syndrome": Neuropathological, behavioral, hormonal and neurochemical analyses
6th Asian College of Neuropsychopharmacology, October 11-13, 2019, Fukuoka, Japan

Fujii K, Maekawa M, Ozeki Y, Eto Y, Saito T, Shinozaki M, Arime Y, Nagashima T, Okayasu H, Shimoda K.
Are "ALL" of neurological symptoms with schizophrenia induced by
antipsychotics? – Possibility of Niemann– Pick disease type C–
6th Asian College of Neuropsychopharmacology, October 11-13, 2019, Fukuoka, Japan

＜国際学会シンポジウム＞

Sugai T, Suzuki Y, Yamazaki M, Shimoda K, Mori T, Matsuda H, Sugawara N, Yasui-Furukori N, Okamoto K, Ozeki Y, Sagae T, Someya T.
Characteristics of physical risk in Japanese patients with schizophrenia
6th Asian College of Neuropsychopharmacology, October 11-13, 2019, Fukuoka, Japan

Yasui-Furukori N
Pharmacogenetics in Psychiatry.
The 7th China-Japan joint meeting of basic and clinical pharmacology, August 3-6, 2019, Kunming, China

<国内学会シンポジウム>

古郡規雄
双極性障害治療時併用される抗精神病薬と抗うつ薬の特徴
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

古郡規雄
情動安定剤に併用される抗精神病薬と抗うつ薬の特徴
日本精神神経科診療所協会　第25回学術研究会、2019年6月22日-23日、埼玉

古郡規雄
ガイドラインは日常診療に役立つのか？
第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-12日、福岡

佐伯吉規
緩和医療とアルコール関連問題
第54回アルコール・アディクション医学会学術総会　2019年10月4日-6日、札幌

古郡規雄
現代の不眠と睡眠薬の適正使用、依存性の問題
第40回日本臨床薬理学会、2019年12月4日-6日、東京

Yasui-Furukori N
Pharmacogenetics in Psychiatry. Korea-Japan joint symposium.
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

<ワークショップ>

古郡規雄
日常診療に治療ガイドラインは役立つのか？
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

古郡規雄
薬物動態 令和元年度精神科薬物療法認定薬剤師講習会　2019年10月6日、東京

＜国内学会発表＞

北林佳晃、藤平明広、岡安寛明、下田和孝
高齢発症の為に器質的疾患との鑑別に苦慮した双極性障害の1例
第72回栃木県精神医学会　第37回栃木気分障害研究会、2019年2月16日、宇都宮

大曽根　彰、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座における認知症診断・経過に関するcoginitive reserveの研究
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

長谷川千絵、下田和孝
メランコリーの概念はうつ病の治療および予後予測の指標になり得るのか
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

渡邊　崇、下田和孝
重症かつ難治性の強迫症に対するN-アセチルシステインの使用経験
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

岡安寛明、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座における向精神薬による心臓突然死予測因子への影響についての研究
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

藤井久彌子、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座における統合失調症患者のアミノ酸代謝に関する研究
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

古郡規雄、下田和孝
<獨協医科大学病院精神科専門医育成プログラム>獨協医科大学病院専門医育成プログラムの紹介
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

古郡規雄、下田和孝
<日本臨床精神神経薬理学会>高度精神科薬物治療専門医について
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

藤井久彌子、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座における副作用研究（不随意運動など）

第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

岡安寛明、尾関祐二、下田和孝
妊娠中の悪阻とともに幻聴を呈した1例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

尾関祐二、藤井久彌子、Katija Koelkebeck、下田和孝
統合失調症患者における神経発達合併の臨床経過への影響の評価
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

北林佳晃、藤平明広、岡安寛明、下田和孝
鑑別に苦慮した高齢発症の双極性障害の1例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

石井沙安也、岡安寛明、佐々木はづき、藤井久彌子、下田和孝
高血圧が誘因であることが示唆された反復性の緊張病の1例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

大和田　環　佐々木はづき、近藤年隆、長谷川千絵、岡安寛明、下田和孝
悪性緊張病を呈した双極性障害の1例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

尾関祐二、関根正恵、藤井久彌子、岡安寛明、秋山一文、本間　浩、下田和孝
血漿中アミノ酸濃度と認知機能の関係：構造方程式モデリングを用いた評価
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

佐藤由英、佐々木はづき、篠﨑將貴、岡安寛明、椎木麻姫子、志水太郎、下田和孝
回避・制限性食物摂取症とみなされていたがグルテン関連障害を疑った1例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

古郡規雄、染矢俊幸、鈴木雄太郎、須貝拓朗、下田和孝、尾関祐二、菅原典夫
日本臨床精神神経薬理学会>統合失調症の身体管理についての取り組み
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

渡邊　崇、上田幹人、佐伯吉規、石黒　慎、林　有希、青木顕子、篠﨑將貴、佐々木太郎、佐々木はづき、井上義政、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座におけるパニック障害の薬理遺伝学的研究
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

佐々木太郎、渡邊　崇、井上義政、佐々木はづき、篠﨑將貴、青木顕子、林　有希、加藤和子、

黒田仁一、古郡規雄、下田和孝
VenlafaxineおよびO-desmethylvenlafaxineの鏡像異性体の薬物動態学的解析
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

佐々木はづき、渡邊　崇、井上義政、佐々木太郎、篠﨑將貴、青木顕子、林　有希、加藤和子、黒田仁一、古郡規雄、下田和孝
日本人におけるvenlafaxineと活性代謝産物の薬物動態学的解析
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

鈴木雄太郎、須貝拓朗、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、岡本呉賦、寒河江豊昭、菅原典夫、古郡規雄、染矢俊幸
日本人統合失調症患者における抗精神病薬の多剤併用療法と喫煙の関係
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

横山宜史、白木亮祐、藤平明広、岡安寛明、渡邊　崇、椎木麻姫子、任　理宏、志水太郎、下田和孝
思春期のうつ病による心因性腹痛とみなされていた前皮神経絞扼症候群の一例
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
統合失調症患者の健康意識とMetS罹患率との関連
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

大竹将貴、須貝拓朗、小野　信、鈴木雄太郎、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
統合失調症患者におけるHDLコレステロールと薬剤間差について
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

藤井久彌子、前川正充、尾関祐二、衛藤義勝、齋藤尚大、篠崎將貴、有銘預世布、永島隆秀、岡安寛明、石井沙安也、下田和孝
統合失調症と診断された症例を対象とした成人型ニーマンピック病C型を示唆する所見の検討
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

橋尻洸陽、須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
単独および多剤治療群間におけるaripiprazoleと血中プロラクチン値の関連
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

恩田啓伍、須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅

原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
外来-入院統合失調症患者における生活習慣病罹患率の差異
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

小野　信、須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎　學、下田和孝、森　隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
日本人統合失調症患者の中性脂肪と抗精神病薬との関連：外来-入院における差異
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

篠﨑將貴、佐々木太郎、佐々木はづき、林　有希、渡邊　崇、井上義政、土嶺章子、秋山一文、古郡規雄、尾関祐二、下田和孝
獨協医科大学精神神経医学講座における臨床精神薬理学的研究：抗うつ薬エナンチオマー薬物動態学的解析
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

菅原典夫
統合失調症における同意能力研究の現状
第115回日本精神神経学会学術総会、2019年6月20日-22日、新潟

藤井久彌子、前川正充、尾関祐二、衛藤義勝、斎藤尚大、篠﨑將貴、有銘預世布、永島隆秀、岡安寛明、石井沙安也、下田和孝
抗精神病薬治療中の神経症状はすべて薬剤性か―成人型ニーマンピック病C型の可能性を検討する―
第41回日本生物学的精神医学会、2019年6月22日-23日　新潟

菅原典夫、丸尾和司、古郡規雄
認知症に罹患した要介護者の家族介護者における負担感とその寄与要因に関する検討
第16回日本うつ病学会総会、2019年 7月5日-6日、徳島

大和田　環、篠﨑將貴、野澤成大、森　常俊、森　玄房、平田幸一、下田和孝
尿崩症に伴う腎機能低下と薬物相互作用によりリチウム中毒を反復した1例
第116回東京精神医学会学術集会、2019年7月13日、東京

藤井久彌子、尾関祐二、森玄房、下田和孝
頭部外傷後よりコミュニケーション能力が向上した自閉スペクトラム症の一例
第1回日本成人期発達障害臨床医学会、2019年7月27日、東京

北原亜加利、飯島裕生、竹下克志
高校生硬式野球選手に対する競技不安調査の報告
第17回スポーツ精神医学会、2019年8月30日-9月1日、松山

古郡 規雄
双極性障害治療にはどのような精神療法が必要か
第5回 栃木県精神科医療フォーラム、下野、2019年9月18日

北林 佳晃、藤平 明広、岡安 寛明、下田和孝
季節性うつ病と反復性うつ病とで鑑別を要した1例
第5回 栃木県精神科医療フォーラム、下野、2019年9月18日

北林 佳晃、篠﨑 將貴、岡安 寛明、下田 和孝
ラメルテオンと高照度光療法により抗うつ薬の減量に至った概日リズム睡眠障害を伴ったうつ病の1例
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

渡邊 崇、古郡 規雄、下田 和孝
高用量セルトラリンとラモトリギンの併用療法が奏功した重症強迫症の1症例
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

佐々木太郎、渡邊 崇、井上 義政、佐々木はづき、篠﨑將貴、青木顕子、林 有希、加藤和子、黒田 仁一、古郡規雄、下田和孝
日本人患者に対する CYP2D6遺伝子多型が venlafaxineおよび Odesmethylvenlafaxineの鏡像異性体代謝に及ぼす影響について
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

大和田 環、篠﨑將貴、野澤成大、森 常俊、森 玄房、平田幸一、下田和孝
薬物相互作用と腎機能低下によりリチウム中毒を反復した一例
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

横山宜史、白木亮介、田﨑みなみ、篠﨑將貴、上田明希、種市 洋、下田和孝
うつ病と線維筋痛症にデュロキセチンとミルタザピンの併用が著効した１例
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

森田和弥、富田 哲、猿渡 淳二、上田幹人、青木顕子、土嶺章子、岩下知磨、西村美紀、鬼木健太郎、下田和孝、古郡規雄
母集団薬物動態―薬力学解析によるパロキセチンの個別化投与設計への試み

第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

佐藤由英、篠﨑將貴、岡安寛明、下田和孝
周期的な緊張病性昏迷に炭酸リチウムが著効した統合失調症の 1 例
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

小野 信、須貝 拓朗、鈴木雄太郎、山崎 學、下田和孝、森 隆夫、尾関 祐二、松田 ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸.
中性脂肪値と抗精神病薬との関連について
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎 學、下田和孝、森 隆夫、尾関 祐二、松田 ひろし、菅原典夫、古郡規雄、岡本呉賦、寒河江豊昭、染矢 俊幸
統合失調症患者における生活習慣病罹患率と多剤併用療法との関連
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

鈴木雄太郎、須貝拓朗、山崎 學、下田 和孝、森 隆夫、尾関祐二、松田ひろし、岡本呉賦、寒河江豊昭、菅原典夫、古郡規雄、染矢 俊幸
抗精神病薬多剤併用療法が日本人統合失調症患者の喫煙に与える影響
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

石井沙安也、古郡規雄、宮崎健祐、中神 卓、石岡 雅道、柞木田なつみ、田﨑 みなみ、中村和彦、下田 和孝
バルプロ酸投与中の双極性障害患者におけるカルニチン欠乏症について
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

菅原典夫、古郡規雄、下田和孝
精神疾患罹患者自身のプラセボ対照比較試験に対する姿勢
第6回アジア神経精神薬理学会　第49回日本神経精神薬理学会　第29回日本臨床精神神経薬理学会、2019年10月11日-13日、福岡

北林佳晃、古郡規雄、大和田　環、佐藤由英、横山宜史、藤平明広、菅原典夫、下田和孝
電気けいれん療法におけるPostictal Suppression Indexの関連因子についての検討
第32回日本総合病院精神医学会総会、2019年11月15日-16日、倉敷

横山宜史、古郡規雄、大和田　環、北林佳晃、佐藤由英、藤平明広、菅原典夫、下田和孝
電気けいれん療法における同一コース中の刺激用量上昇に関与する因子の検討
第32回日本総合病院精神医学会総会、2019年11月15日-16日、倉敷

長谷川千絵、平良由香利、大曽根　彰、阿部七郎、井上晃男、下田和孝
心筋梗塞後のうつ状態に関連がある因子についての研究
第32回日本総合病院精神医学会総会、2019年11月15日-16日、倉敷

北原亜加利、下田和孝
転換性障害に伴う歩行障害を生じた高校生ハンドボール選手の一例
第30回日本臨床スポーツ学会、2019年11月16日-17日、横浜

北原亜加利、飯島裕生、竹下克志、下田和孝
慢性疼痛の薬物療法中に幻覚を呈し精神科を受診した３症例
第12回日本運動器疼痛学会、2019年11月30日-12月1日、東京

長谷川千絵、下田和孝
言語的コミュニケーションの困難さによって対応に苦慮した日系ブラジル人女性の一例
第26回多文化間精神医学会、2019年11月30日-12月1日、京都

下田 和孝
精神科薬物治療の現状（会長講演）
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

小野 信、須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎 學、下田和孝、森 隆夫、尾関祐二、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、染矢俊幸
統合失調症における抗精神病薬と HDLコレステロール値との関連について
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

岡安 寛明、藤井久彌子、尾関祐二、下田和孝
統合失調症患者における治療薬と瞬時心拍変動との関連の予備的検討
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日6日、東京

田﨑みなみ、篠﨑將貴、岡安寛明、古郡規雄、下田和孝
様々な抗精神病薬に対して有害事象が生じていたが，ブレクスピプラゾール使用により，有害事象が改善した統合失調症の1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

渡邊 崇、古郡規雄、下田和孝
グルタミン酸神経作用薬を投与した強迫症の1症例

第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

須貝拓朗、鈴木雄太郎、山崎 學、下田和孝、森 隆夫、松田ひろし、菅原典夫、古郡規雄、尾関祐二、岡本 呉賦、寒河江豊昭、染矢俊幸
抗精神病薬の多剤併用と生活習慣病罹患率との関連
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

藤井 久彌子、前川正充、尾関祐二、衞藤義勝、齋藤尚大、篠﨑將貴、有銘預世布、永島隆秀、岡安寛明、下田和孝
『薬剤性』と通常判断する統合失調症のジストニアを再検討する　―成人型ニーマンピック病 C 型の可能性―
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

徳満敬大、古郡規雄、吉村玲児、加藤正樹、中川敦夫、菊地俊暁、坪井貴嗣、足立直人、窪田幸久、阿瀬川 孝治、上田 均、枝川浩二、勝元榮一、後藤英一郎、本郷誠司、下田和孝、渡邊衡一郎
双極性障害患者の外来処方薬と患者プロフィール
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

北林 佳晃、篠﨑 將貴、岡安 寛明、下田 和孝
概日リズム睡眠障害を伴ったうつ病にラメルテオンと高照度光療法が奏功し抗うつ薬の減量に至った1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

佐々木太郎、渡邊 崇、井上義政、佐々木はづき、篠﨑 將貴、青木顕子、林 有希、加藤和子、黒田 仁一、古郡規雄、下田 和孝
日本人における CYP2D6遺伝子多型が venlafaxineおよび O-desmethylvenlafaxineの鏡像異性体代謝に及ぼす影響について
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

横山宜史、白木亮介、田﨑みなみ、篠﨑將貴、上田明希、種市 洋、下田 和孝
デュロキセチンとミルタザピンの併用が著効したうつ病と線維筋痛症の1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

石井沙安也、岡安寛明、藤井久彌子、尾関祐二、加瀬正人、麻生好正、下田和孝
バルプロ酸投与とカルニチンの関係
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

石井沙安也、古郡規雄、宮崎健祐、中神 卓、石岡雅道、柞木田むつみ、田﨑みなみ、中村和彦、下田和孝

ノルトリプチリン・パロキセチンにより薬剤性抗利尿ホルモン不適合分泌症候群が惹起されたうつ病患者に対するミアンセリンの有用性
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

佐藤由英、篠﨑將貴、岡安寛明、下田和孝
炭酸リチウムが著効し周期的な緊張病性昏迷が改善した統合失調症の1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

佐々木はづき、渡邊 崇、井上義政、佐々木太郎、篠﨑將貴、青木顕子、林 有希、加藤和子、黒田仁一、古郡規雄、下田 和孝
日本人における Venlafaxineおよび O-desmethylvenlafaxineの鏡像異性体の薬物動態学的解析
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

大和田 環、篠﨑將貴、野澤成大、森 常俊、森 玄房、平田幸一、下田和孝
繰り返すリチウム中毒が腎機能低下と薬物相互作用に起因していた一例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

篠﨑將貴、下田和孝
レストレスレッグス症候群を併発した双極性障害の症例にクエチアピン徐放剤が著効した1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

菊池昂太、篠﨑將貴、岡安寛明、下田和孝
ミルタザピンとデュロキセチンの併用療法によりアカシジアを呈したうつ病の1例
第40回日本臨床薬理学会学術総会、2019年12月4日-6日、東京

＜その他＞
下田和孝
精神科領域の臨床試験
第10回日本臨床試験学会学術集会総会（ランチョンセミナー）、2019年1月25日-26日、東京

下田和孝
作り手の気持ちを伝える
ヤンセン社内勉強会、2019年2月21日、壬生

下田和孝
精神科における薬物療法のトピックス
向精神薬の適正使用～診療報酬上の投与制限も含めて～
福島県精神科病院協会総会　講演会　2019年6月28日、郡山

下田和孝

作り手の気持ちを伝える
ヤンセン社内勉強会、2019年7月2日、仙台

下田和孝
逆境の研修医獲得戦略　～まずはトップが体を張るべし～
病院マーケティングサミットJAPAN2019、2019年8月24日、東京

下田和孝
精神科治療薬の臨床試験について
第19回CRCのあり方と臨床試験のあり方を考える会議　in Yokohama 2019（ランチョンセミナー）、2019年9月15日、横浜

下田和孝
精神科領域の診療（診断・治療）の現状について
宇都宮地方裁判所医療関連裁判連絡委員会、2019年11月13日、宇都宮

2018年の業績　記載漏れ
＜和文総説＞
佐伯吉規
外来・病棟でよくみる精神症状対応マニュアル　膠原病、リウマチ疾患
月間薬事7月増刊号，60(10):199-208, 2018

＜シンポジウム＞
佐伯吉規
依存症と緩和医療
第69回GHP研究会、2018年8月4日、東京

佐伯吉規
治療の難しいせん妄のマネージメント「がん終末期とせん妄」
第31回日本総合病院精神医学会総会、2018年11月30日―12月1日、東京

＜ワークショップ＞
佐伯吉規
無床カフェ「果たして無床総合病院精神科医は必要か？」
第31回日本総合病院精神医学会総会、2018年11月30日－12月1日、東京

＜その他の講演＞
佐伯吉規
サイコオンコロジー：がん患者のこころを診る精神科医
世田谷区医師会在宅医療部講演会 2018年7月6日、東京

編集後記

今年はコロナの流行に伴い、納涼会、忘年会など様々な医局行事が中止となり、写真も少し寂しいものになってしまいましたが、その分皆様の個性ある文章が彩を与えて下さり、こうして無事に同門会誌が出来上がったことを嬉しく思います。皆様ご協力ありがとうございました。 M.T

この度編集作業に携わらせて頂きました。普段であればサマリを添削される側なので新鮮な経験でした。今年はCOVID-19の影響で各種イベントが中止となってしまって直接的なご挨拶はできなかった分、同門会誌を通じて各先生の原稿を楽しく校正させて頂きました。 A.F

獨協医科大学精神神経医学教室
同門会誌　第12号

2021年2月1日発行
編集発行人　獨協医科大学精神神経医学教室同門会
発　行　所　獨協医科大学精神神経医学教室同門会
獨協医科大学精神神経医学教室内
栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
TEL 0282-86-1111（代表）
印　刷　所　鈴木印刷株式会社
栃木県宇都宮市平出町3751-11
TEL 028-660-3555（代表）

NUTRITION

Abbott

経腸栄養剤（経口・経管両用）

薬価基準収載

エンシュア®・H

バニラ味　コーヒー味　メロン味　黒糖味　バナナ味　ストロベリー味　抹茶味

※味の違いは香料によるもので、本剤にはバニラ、コーヒー、メロン、黒糖、バナナ、ストロベリー、抹茶などの成分は含まれておりません。

「効能・効果」、「用法・用量」、禁忌を含む「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元
アボットジャパン合同会社
東京都港区三田三丁目5番27号

製造元
株式会社 明治

［資料請求先］アボットジャパン合同会社　お客様相談室 フリーダイヤル **0120-964-930**

2020年1月作成

Eisai

hhc
human health care

患者様の想いを見つめて、薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病気を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

AFUTUREFREEOFLF
GlobalAlliance
エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

REXULTI®
brexpiprazole
tablets

劇薬、処方箋医薬品
注意－医師等の処方箋により使用すること

抗精神病薬

レキサルティ® 錠1mg 錠2mg

REXULTI® tablets〈ブレクスピプラゾール錠〉

薬価基準収載

◇効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意及び用法・用量に関連する使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

Otsuka
製造販売元
大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田司町2-9

文献請求先及び問い合わせ先
大塚製薬株式会社　医薬情報センター
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4　品川グランドセントラルタワー

〈'20.06作成〉

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先）
大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉
くすり情報センター
TEL 0120-034-389
受付時間／月～金 9:00～17:30（祝・祭日を除く）
https://ds-pharma.jp/

2020.10

Better Health, Brighter Future

一人でも多くの人に、かけがえのない人生を
より健やかに過ごしてほしい。

タケダは、そんな想いのもと、1781年の創業以来
人々の人生を変えうる革新的な医薬品の創出を通じて
社会とともに歩み続けてきました。

タケダはこれからも、グローバルなバイオ医薬品の
リーディングカンパニーとして、より健やかで輝かしい未来を
世界中の人々へお届けするために挑戦し続けます。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

Takeda

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤

薬価基準収載

サインバルタ®
カプセル20mg
カプセル30mg

Cymbalta® デュロキセチン塩酸塩カプセル

劇薬，処方箋医薬品注）

注）注意–医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」,「効能・効果に関連する使用上の注意」,「用法・用量」,「用法・用量に関連する使用上の注意」,「禁忌」,「使用上の注意」等については添付文書等をご参照下さい。

®：米国イーライリリー・アンド・カンパニー登録商標

販売〈文献請求先及び問い合わせ先〉
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通5丁目1番28号

日本イーライリリー医薬情報問合せ窓口
www.lillymedical.jp

医療関係者向け 0120-360-605※1
受付時間：月曜日～金曜日8:45～17:30※2
※1 通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
※2 祝祭日及び当社休日を除きます。

PP-DD-JP-4049　2020年9月作成

Pfizer　大日本住友製薬

セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤（SNRI）　薬価基準収載

イフェクサー®SR カプセル 37.5mg・75mg

EFFEXOR® SR CAPSULES

ベンラファキシン塩酸塩徐放性カプセル

劇薬 処方箋医薬品

注意－医師等の処方箋により使用すること

●効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

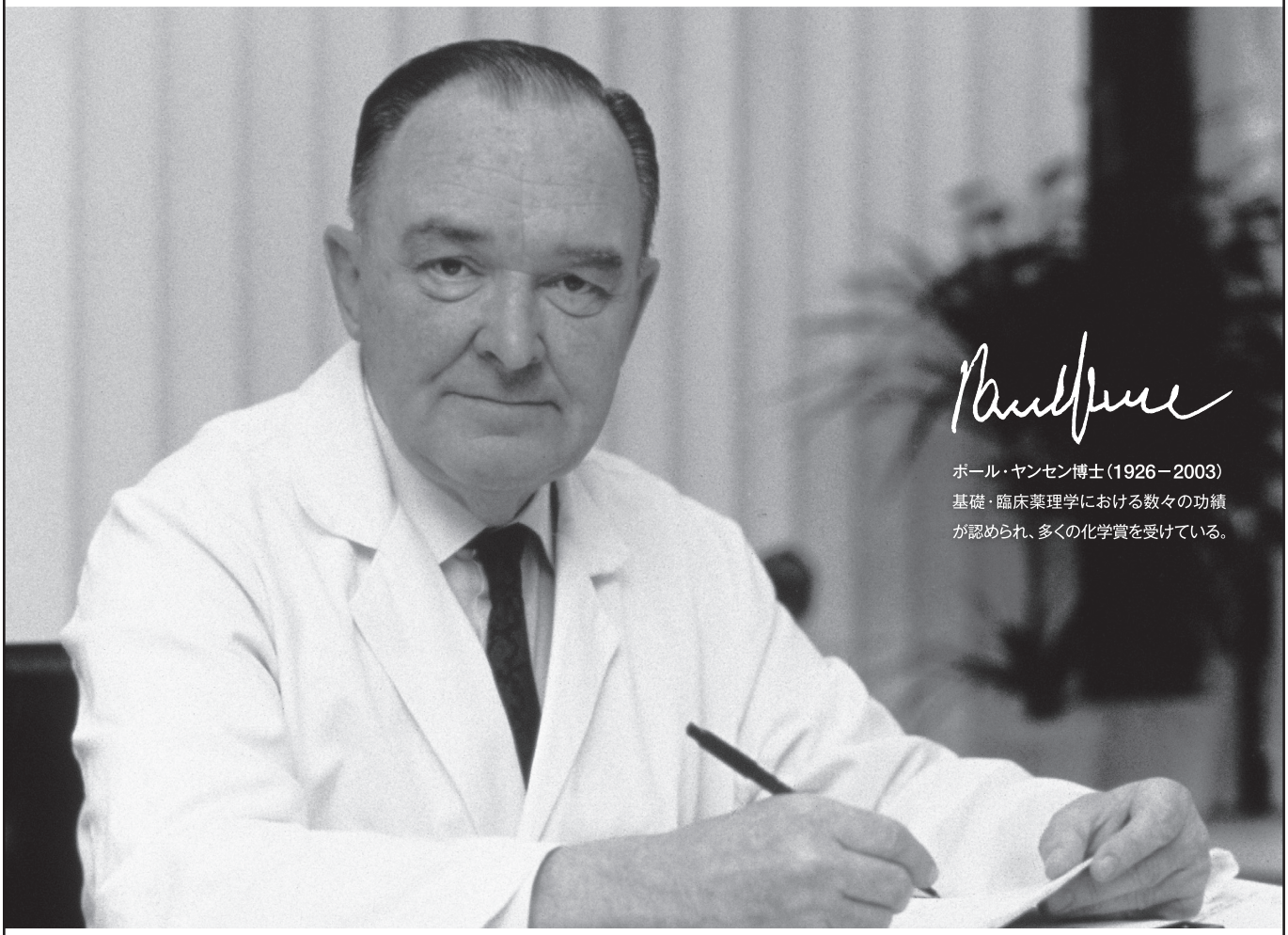
製造販売元
ファイザー株式会社
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
文献請求先及び問い合わせ先：製品情報センター

プロモーション提携
大日本住友製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8
文献請求先及び問い合わせ先：くすり情報センター

EFX72F022F
P03986v02

2019年10月作成

Janssen
PHARMACEUTICAL COMPANIES OF
Johnson&Johnson



ポール・ヤンセン博士（1926－2003）
基礎・臨床薬理学における数々の功績
が認められ、多くの化学賞を受けている。

抗精神病剤　劇薬　処方箋医薬品*

インヴェガ®錠 3mg 6mg 9mg

INVEGA® Tablets

パリペリドン徐放錠　薬価基準収載
*注意－医師等の処方箋により使用すること

持効性抗精神病剤　劇薬　処方箋医薬品*

ゼプリオン®水懸筋注 25mg 50mg 75mg 100mg 150mg シリンジ

XEPLION® Aqueous Suspension for IM Injection

パリペリドンパルミチン酸エステル持効性懸濁注射液　薬価基準収載
*注意－医師等の処方箋により使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
ヤンセンファーマ株式会社
〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2
www.janssen.com/japan
www.janssenpro.jp（医薬品情報）

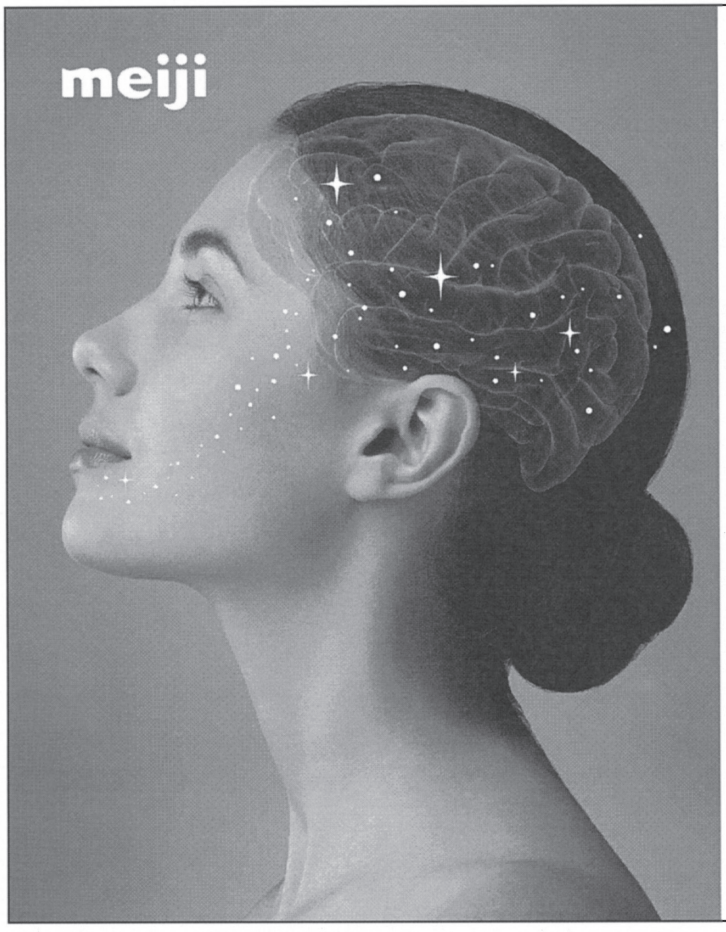
© Janssen Pharmaceutical K.K.2015-2018

2018年4月作成

まだないくすりを
創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。
世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。
明日を変える一錠を創る。
アステラスの、しごとです。

明日は変えられる。 astellas
アステラス製薬株式会社
www.astellas.com/jp/



抗精神病剤
劇薬 処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること) 薬価基準収載

シクレスト®舌下錠
5mg・10mg

SYCREST® SUBLINGUAL TABLETS 5mg・10mg
アセナピンマレイン酸塩舌下錠

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌、併用禁忌を含む使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等の詳細については、添付文書をご参照ください。

製造販売元〈文献請求先及び問い合わせ先〉
Meiji Seikaファルマ株式会社
東京都中央区京橋2-4-16
https://www.meiji-seika-pharma.co.jp/
くすり相談室 電話(0120)093-396、(03)3273-3539

作成：2020.11

KAITEKI Value for Tomorrow
三菱ケミカルホールディングスグループ
精神科医療の
真のパートナーを
目指して
田辺三菱製薬グループ
吉富薬品株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10
http://www.yoshitomi.jp/